無産階級戰鬪雜誌

進め

一部十錢

大正十二年一月三十日第三種郵便物認可
大正十五年七月廿六日納本同年八月一日發行

第四年◆八月◆第八號

萬國の勞働者團結せよ

◆本號一覽◆

◇軍事教練と階級闘爭……巻頭言
◇反軍國主義の旗下に集れ……板倉鎮男
◇素人から見た社會主義……佐藤光敏
◇土地と農民の史的研究……湯原彦三
◇農民運動の社會主義化……安田三郎
◇農村勞働婦人は生活改善を叫べ……蜂屋甫曄
◇新聞雜誌の差押に就て……布施辰治
◇解放運動史上の人々……浅野研眞
◇故國の同志に與ふ……在米同志
◇社會運動より見たる智識階級の正體……澤井龍之助
◇眞劍味を以て戰へ……神戸平八郎
◇（創作）胡瓜日記……中島安太郎
◇（社會小說）ジミー君の話……前田河廣一郎
◇社會主義講話……石川準十郎
全土戰報……農村工場鐵山より

社告

本社は今回左記へ移轉致しましたから凡ての御要件は左記へ御願ひします。

東京市外大井町鈴ケ森海岸一八九〇

何日もの事であるが各地方に於いて我が社の名を亂用し誌代を詐取するものがある。最近殊に其等の詐欺を爲すものが増したやうである。本社は寄附等は絕對に願つた事は無く之等の者とは何の關係もないものである。今後若し之等の詐欺漢を見聞された時は、如何なる事を云ふとも斷じて要求に應じられない樣に御注意致します。

又本社に對して盛に流言蜚語を放ち、中傷を爲すものがある。勿論我々は斯かる者共を眼中に置いてはゐないが、純眞にして比較的都會の事情に暗い地方の同志に惡影響を與へるから玆に一言斷つて置く。進め社は依然として動かない。過去現在を通じて創刊當時の主義主張と何等變らない事を天下に宣明する。若し尙本社に對して流言を放つ者ありとせば如斯徒は閥賊の所謂ゴマの蠅か、スパイか、反動ゴロか、或ひは自分のした事を省みず却つて本社に逆恨みを持つ者かに相違ない。かゝる者は歯牙にかくるにも足らないが態々御通知下さる同志があるので其等の人々に感謝すると共に未知の同志諸氏に警告する次第である。

マルクス寫眞無代頒布

コロタイプ寫眞版丈一尺五寸巾九寸

二十版出來一部　送料共參拾貳錢

マルクスは科學的社會主義の鼻祖にして無產階級永遠の恩人である。吾社は最近原版を獨逸より取寄せ、複寫して讀者に配布することゝした。今月中に誌代一ヶ年分前納せし讀者に無代で頒布する。至急申込まれたし。

◇マルクス寫眞集

四六倍版アート紙美本　定價五拾錢　送料四錢

マルクスの幼時より死に至る迄の寫眞十數葉を聚めたるものにして新思想家の座右に備ふべきは勿論我等の永久に記念すべき貴重なものである。

◇社會思想家寫眞集

四六倍版アート紙美本　定價五拾錢　送料四錢

サンシモン、フエリー、オーエン、モリス、マルクス、バクーニン、エンゲルス、リーブクネヒト、クロポトキン、ラツサール、レーニン、トロツキー等

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

軍事教練と階級的鬪爭

總べての階級鬪爭は、○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○、○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ある。『○○○○○○○○○、○○○○○○○○○○、○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○、○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○、○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○、○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○、○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○』○○○○○○○○○○○○る。

○○、○○○○○○○○○○○○、○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○を必要とする。

然しながら○○○○○○○○○○、○○○○○○○○○○○○○、無○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○、○○○○○○、○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○、○○○○○○○○は決定する。

今日の議會政治への運動は、確かに無產階級としての採る可き政治行動ではある。○○○○○、○○○○○、○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。大衆と共に！　或は社會運動の大衆化は、既に幾度となく叫ばれ、而してその具象化も續々と現れつゝある。

然しながら、大衆と共に！と云ふ合言葉は、決して大衆と共に運動精神を低下せよと云ふ意味ではない。その方向轉換は、從來の指導精神を放棄して、大衆と共にリベラリズムの精神の中に、轉落せよと敎ゆる者でもない。○○○、○○○○○○○○○、○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

青少年軍事敎練は、今や全國的に完全に如何なる僻村と雖も見遁すことなく行渡りつゝある。無產階級はこの青少年軍事敎練に對して、階級的に參加すべきである。それは恰も無產階級のブルジョア議會への政治行動が、無產階級の階級的解放戰の一戰術として必要なるが如く、ブルジョア階級の軍事行動に對抗する意味に於て、全無產階級の青少年大衆にとつてこの青少年軍事敎練に參加することは、絕對的に必要である。

然しながら、この事は無產階級の青年が、資本家的軍事精神即ち資本閥の奴隷化することを意味するものではない。

繰返へして云へば、總べての階級鬪爭は、何時如何なる場所に於ても、政治鬪爭である。無產階級の青年大衆は、この軍事敎練の中へ、階級鬪爭を導き入れることを必要とする。即ちこの軍事敎練の中に於て、○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○、○○○○○○○、○○○○○○○○、○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○である。

時論

反軍國主義の旗下に集れ

板倉鎭男

一

日本の資本主義は或る一定段階に到達して將に崩壊的過程に沈臨しつゝある。而して一方此の制度の支配者は死者狂ひとなつてこれが支持に勉め、自階級の永久的榮耀と慾望をば滿さん事に心醉してゐる。又一方彼等支配階級はこれが改革運動に盡力しつゝある勞働階級に向つては常に彈壓の毒矢を放つて殘虐なる修羅の巷を現出せしめてゐる。〇〇〇〇〇〇〇〇〇、〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇。彼等は最近、舶來ものゝファシズムを輸入して此の間等は『建國祭』とやらの日本最初の御祭りを一つ増やしめた。それなら紀元節は何の爲にあるのかと尋ねる方が馬鹿であらう。

現在の日本政界は〇〇〇　〇〇〇　〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇、〇〇〇〇〇〇〇め、心中、自から自身もかくなる事をば怖れつゝ〇〇〇〇〇〇〇に腐心して居る。而してそれは一日共『我黨内閣』の延命をば圖る爲であり、亦一方普選に據る新興勢力の擡頭をば一日も遲く、而して其の勢力をば殺ぐ事に萬遺漏無からんが爲である。

二

日本の政界は議會を通じて見て、今やハッキリと普選後に於ける保守的分子と多少自由主義的分子の對立を想定する事が出來る。而して現今の政黨中最も保守的官僚的なるは與黨憲政會である。それは政府黨なるによるけれ共、吾等當面の仇敵は現政府及び憲政會でなければならない。現政府は吾等無産階級に忘るべからざる屈辱と鐵鎖とを與へた。彼こそは從來に無き最初の反動的政黨の巨峰である。比較的民衆より信任された政黨であるだけ、而して普選てふ好餌を與へた政黨であるだけに吾等無産階級に取つては侮るべからざる强敵であるのだ。吾等は現文相岡田某にも肝に銘じた恩を着てゐる。即ち『軍事教育』と云ふ有難い課教育だ。吾等は次第に濃くなり行く現政府の反動主義的政策を見る時、吾等無産階級に於いては一日たりとも默してはゐられない。吾等の最も恐るべきは現政府の軍國主義的政策の色彩の濃い事である。彼文相岡田は昨議會の豫算面に『青少年訓練案』を上程し、『青少年』の軍國主義的教育をば實施するに至つた。而して漸次、在郷軍人、青年團、少年團等〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇の製造に汲々たらんとしてゐるのである。

三

『勞働爭議調停法』『勞働組合法』『暴威取締法』は昨議會を通過し、愈々實施されたので今尚全國各勞働組合では全國的反對運動をば連絡實行しつゝある。然し乍ら、自分等の子弟が將に軍

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

國主義のかいらいたらんとし、又、吾等勞働階級の暴壓道具たらんとする時我等は斷乎として、此の惡法律に反對しなければならない。吾等無產階級は吾等の不利益なる法律だけに反對すべきではない。吾等は今後の××運動の邪魔建てせんとする一切の惡道具に對して徹底的の撲滅策を講じなければならない。此の點に付いても現在の勞働組合幹部、組合員諸君及一般無產階級の兄弟達に叫びたいのである。吾等無產階級の子弟が仇敵ブルジョアジーの道具たらんとする時、如何にして吾等は靜視して居られよう。吾等は斷乎として此の惡法を葬むらなければならぬ。

四

日本資本主義は一節最初に略述した如く、或る發達段階を越えて漸次下り坂に向はんとして居り、而してこれが阻止防備に焦慮腐心し、死者狂ひの狂態を演じて居る。そうして愈々增々資本主義最後の段階たる帝國主義の威力を發揮し、無產階級をば永遠に浮び上がらさざる程度に迄彈壓の刃を兄弟の胸に加へつゝある。彼等の宣傳は商人よりも功妙を極め、新聞、ラジオ放送、ポスター、活動寫眞等の公衆的設備を利用して支配階級の御用に供して居る。而してそれにも慊たらず、直接、學生、青年團、少年團等をば武裝せしめ、公民教育、眞人教育いや社會教育のと、○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○、○○○○○○○○見聞且つ實行せしめてゐるのである。思ふに彼等の此の狂態は最早斷末魔に頻せる彼等支配階級の最後的自防策であり、消極的には自階級擁護の道具たらしめんとし、積極的には新與無產階級の壓迫機關たらしめんとしてゐるのである。

五

資本主義社會は自己胎內の矛盾により自動的崩壞の過程を經、而して漸次必然的に、社會主義社會に推轉しつゝあるはマルクス經濟學の說く所である。現今の日本資本主義の如きも此の原理に基き最早、行き着く所に逢着し、今や崩壞の過程を辿りつゝあるは否むべからざる事實である。然るに一方、今だ舊封建主義的殘存分子が勢力を占め、資本家階級に取つて侮るべからざる餘勢を張り、こゝに變態的資本制度のジレンマを現出せしめてゐる。而して此の封建的舊勢力は勞働階級に取つて寧ろ當面仇の敵たる資本家階級よりも甚だしく頑强傲慢なる邪魔者、否障害物となつて居るのである。而して、一方資本家階級は將に崩壞せんとする自階級の防禦手段として、是等反動分子と提携し倶に無產階級の○○に懸命となつて居る。そうして此處に尨大なる反動的分子の大同團結を以つて一擧に無產階級の頭上に一大鐵槌を加へんと備えて居る。見よ全國に亙る反動團體の跨跳梁を！

六

斯くの如く窮迫餘裕なき狀態の下に於ける吾等は最早や、徒らに忍從して居る時期でない。此の惡魔の如き强敵に對しては寧ろ當面の仇敵たる資本家階級よりも其の强大にして頑從なる反動分子に對して徹底的の宣戰を布告しなければならない。資本主義は經濟學上の見地より漸次、崩壞的過程に沈湎し、下降するものであるが、それを支持する反動的勢力、否軍國主義的物理力の殘存する限り、資本形態はその畸形兒的姿態の儘、吾等の頭上から永遠に除去され得ない可能性を有するものと考へられるのである。

資本主義の搾取制度を永遠の樂園とし、それによつて我等無產階級をば自からの歡樂のいけにえたらしめんとする彼等ブルジョアジー及一部、未だ封建的貴族の大名生活の夢より醒めず而してる不勞所得によつて惰眠を貪ばる反動分子の最後的○○紀○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○絕叫して止まないのである。再び云ふ我等は勝利を期して戰はなくてはならぬ。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

素人から見た社會主義

佐藤光敏

小序

社會主義者が受ける質問の中で、そうして、一般の人が、問ふ問題は大概、きまつてゐる。それは左の如き質問である。是れは一つには一般人の常識を現してゐるものであり、質問代表の常會議であると信ずるものである。

(一) 社會主義即ち共產主義の世の中になつたら働く者がなくなる？

我々は現代に生きて何の爲に働らいてゐるか？ それは各人が食わんが爲に仕方なく働いてゐるのである。それは只だ生きんが爲であつて別に他の慾望は無い。慾望と云へば名譽慾とか所有慾とか快樂慾とか又は種々な精神上、肉體上の慾望もあるであらうが。然し、それは皆、生きんが爲の副次的慾望に外ならないのであつて、よりよく生きる慾望以外の周圍を出ないものと見て好い。よりよく生きんが爲の慾望充足心理であつて、獨立した別個の慾望ではないのである。即ち現代資本主義社會にては勞働者はよりよく生きんが爲に働いてゐるけれ共而し、勞働者の生活狀態を見るとそれは陰慘な死への道程を辿る所の地獄道以外にないのである。日に日に一日のパンを求めんが爲に工場、鑛山、街頭に流れ出てそして漸く一日の飯だけの賃銀を貰つて家に歸る。同じ生活を壹年參百六拾五日繰り返してゐるのである。何等其處には社會人の福利になる樣な事は毫末もない。是はつまり、物質を生產する所の生產機關を一部資本家が握つてゐるのであつて、最近の實例を引けば 今是處に寒さに慄へてゐる者が數萬人ある。其の人達は家がなくつて困つてゐるけれども、家が建てられない。それに反して建築材料たる材木は山程あつて棄てるにもやり場がなく、困り切つて破產して了つた會社が少なからずある。それは、震災で燒かれた人が寒いバラックの中で困つてゐるのに、材木商連は供給過剩で重い材木を持ち抱へ切れなくなつてクタバッて了ふと云ふ珍現象を呈してゐるのを見ても判るのである。そしてあたら、生々しい材木、挽材、板等をば雨風日光に曝し上げた結果腐らしたり、割つて了つたりして三文の値打もなくして了つたのである。何と云ふ皮肉な珍現象であらう。バラック生活者は一度芝浦港を眺めて見給へ。海原が材木の砂漠かいや木漠か判らないだらう。資本主義の世の中は働らく者程貧乏する。勞働者は死ぬ迄働いても勞働者であり、最期は首切りだ。資本主義の世の中は皆んな總てが資本家の爲に働いてゐる樣に出來てるんだ。此の生產機關を社會の人が握らない限りは永遠に社會人の社會は來ないのである。生產機關を勞働者が握れば思ふ儘に物質を生產し、社會の福利を增進させられるのだ。そうして働けば働らく程物質は社會に充滿し、毫も棄てゝ腐らす樣な珍現象は見られないのである。即ち需要ある物質は益々生產力を增進し不需要の物質は生產力をば中止して需要ある生產物に置き更へるのである。それは資本家の如き若しくは資本家社會の如き『利益』の爲の生產ではないからであつて、それは純然たる社會人一般民衆の爲の生產であるからである。從つて思ふが儘に社會の人の需要物をば生產して需要を滿されるのである。即ち是を稱して生產機關の社會化と云ふ所以である。從つて働らく事は自分の爲であり、そうして社會一般の爲にもなるのである。何となれば『生產物は總て生產者の物なればなり』であるから。そうして『働かざる者は喰ふべからず』にして了へば『働かざる者は喰ふ』事が出來なくなり、今の資本家共の樣に遊んでゐて人十倍の贅澤をする人間がなくなるから社會は益々富まざるを得なくなる所である。社會が富

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

む事は自分自身が富む事である。それが即ち社會主義の世の中であつて働けば働らく程生活が豐になるのである。だから、働らく事が厭になつたり、懶者になる憂は決してないのである。否々、愈々益々働らく事が好ましくなるのである。そうして働らく事が厭になるのは社會主義の世の中ならぬ現代資本主義の世の中にこそ云ひ當て嵌るべき語であると云ふべきである。

(二) 資本家も勞働者も持ち合持たれ

是は好く聞く語である。資本家あつての勞働者で又勞働者あつての資本家である。と、一般の人は云ふ。そうして酷いのになると資本家がなければ勞働者は食つて行かれない。即ち生きて行かれないと云ふのである。斯ふ云ふ人は社會に澤山あるだらう。是は無智な勞働者の中にもあるのであつて其歴馬鹿々々しい事を信じてゐる人達は好く考へて見なければならない。或る人は勞働者は親や先祖がナマケ者で働かんから財産も何も無くして了つたのだ。そうして資本家の親や先祖は汗と膏で働いて財産を造らへたから今の様なエライ者になつたのだ。そして自分の貧乏も親や先祖が惡いので仕方のない事だ。等と自分が貧乏人であるにもかゝわらず、奇妙變挺な大悟徹低した人がある。是れはまだ財産の紀元を知らぬ人で今の資本家共が皆んな働いて財産を造らへた様に思つてゐる結構人達である。是れは飛んでもない大間違なのである。『〇〇〇〇〇〇〇』〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇、〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇、〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇、地主共が地を所有してゐるのは强ち働いた結果所有してゐる譯ではない。即ち遠い以前から征服的立場から『掠奪』したものが多いのである。財産も又然り、で財産は總て被雇傭者を搾取して造つたもので、毫も資本家共が全身汗みどろで働いて造つたものではないのである。そこで、假令、親、先祖が造らへたものでも、親、先祖一人が造らへたものを永遠に息子共がそれに食ひ付いて、百年千年迄も遊び廻つて永遠に贅澤三昧に暮すなんて其歴不公平、不平等な馬鹿々々しい理屈はない筈である。つまり、親、先祖一人のお蔭で大多數人の苦痛を己れ一個人が其の勞苦者の生産物を搾取するなんて其歴不自然な話があるものぢあない。それは丁度、今の華族の先祖が國家の功勞とかで華族に列したのを永遠に若様共に傳えて子爵のゴ爵のと生れるなり、チヤホヤされて玩具人形の様な人間に成人すれば、某伯爵令孃と戀に落ちただの、いや自由戀愛結婚の嚆矢だのと、勝手な屁理窟を揑つちあげ、新人の戀人のと華族若様一派は躁いで廻る、そうして年百年中、ダンスと緞子で生涯を終る。そうして其の費用は俺達勞働者の搾取されたものであり、俺達の苦痛を彼等は快樂に利用してゐるまでである。寔に俺達勞働者こそ汗涙に咽ばざるを得ないぢあないか。

即ち是れと同じ蹉跌を踏んでゐるのが資本家である。それは何ちらから云つても同じ事ではあるが、假りに親、先祖の一人の功勞の爲に未來永劫其の子孫が――そうして其の子孫が阿呆でも馬鹿でも、懶惰者でも――遊んで食つて行く一方、親、先祖の一人の惡德の爲に未來永劫其の子孫が――そうして其の子孫が賢人でも怜悧者でも好勞者でも――飢じい目をして行かなければならないと云ふ理窟が何處から出て來るのだらう。即ちそれは個人々々其の人の問題であつて、子孫等の敢て關知せざる所である。是れは親、先祖、の功勞の結果たる説を肯定したものであつて、事實は『財産は掠奪』の結果に外ならないのである。

從つて其の財産は絶對的の財産でないのみならず明らかに『掠奪』たる證據は歴史に其の影跡を印してゐるのである。例へば此處に一つの處女地があるとする。そうして或る男は是の處女地をば見て『是の地は俺の地だ』と云つたら傍に同じく見てゐた人達は是を認めるであらうか什うか。又此處に果實が成つてゐる。それを或る男が見つけて『此の果物は皆んな俺のものだ』と云へば同じく傍で見てゐた人々は自分の空腹を抱へて此の言葉を認めるか什うか。此の話は原始社會の話であつて是れ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

は私有地の原因、又は總ての財産(私有財産)の原因の一挿話である。斯ように私有財産は絶對的のものでない事は今更此處に喋々を用せなくつても、從來、西歐の經濟學者の公認する所である。而して財産は絶對的のものでないとすれば資本家の私有する生産機關はやはり其の過程を踏襲して來たものに外ならないのである。而して勞働者は資本家がなければ食つて行けない即ち生きて行かれない等と人々から言われてゐるけれども勞働者は其の日〱を滿足に不腹なしに生きてゐるのでは決してない。我等は腹一杯心配無くして食つた日は一年三百六十五日一日としてないのである。ホンの口に注ぐだけの賃銀で什うして親、妻、子供迄を食わし、着せて學校へもやれる事か。而して一年去てば乞食の子でも年が增える例への通り、我等は日々に老いて行く身である。そうして年を老るよりも恐ろしいのは何時何時、首を馘られるか判らない不安であり、心配である。即ち資本主義の社會では、生産物があり餘ると早速、生産機關をば停止して了ふ。即ち生産力の過剩の爲に停止するのである。そして生産をば一時中止するのである。バラックで慄え上つてゐる數萬の同胞をも見棄てゝ「利益」の爲には數萬の人々をも見殺しにしてもいゝのである。過ぎし夏ではトタン張りで酷暑に苦しんでゐる幾十萬の人々をも現在腐る程、材木や建築材料があり乍ら、資本家共は涼しい顏して知らぬが半兵衛ではない。モット外にいゝ儲け口はないものかと眼を皿の樣にしてあさついてゐるのである。バラック生活者程、氣の毒な者はないのである。トタン張りの中で百幾度の焦熱の中で苦しい目をし乍生きてゐるのである。何と云ふ皮肉な矛盾した社會なんだらう。何と云ふ虚僞と醜惡に滿ちた社會なんだらう。從つて生産機關の停止は同時に勞働者の生活の問題であらねばならぬ。即ち生産機關の停止と共に勞働者の『首馘り』が始まるのである。人生の中で最も悲慘な失業問題が起るのである。此の心配を除く事は生活保證の第一條件である。是れはつまり生産機關をば資本家に握られてゐるが爲であつて、斯ふなると、資本家は却つて邪魔になつて來るのである。俺達が何日も觸つてゐる生産機關さえ、俺達の手に握れば首を馘られる心配は全然なくなるのである。是を一部少數者即ち資本家階級に獨占されてゐればこそ、大多數の人の生存をば脅やかされてゐるのではないか。從つて其の生産機關さえ、あれば俺達一般勞働者は永遠に生活を保證され、子々孫々代々生存の脅威は絶對になくなり子孫は永遠に其の裔を殘し、人類の幸福は未來永劫不變の眞理を發見したのである。故に資本家が無ければ勞働者が食つて行けない。生きて行けない等と云われるのは實際に於て有難迷惑の甚だしきものである。寧ろ、それは全然、反對の語と化し去つたのである。我等は此處に我等の生存を保證されなくなれば速やかに社會の共有財産なる所の生産機關をば我等の手に渡して貰わなければならぬ。それが我等の生存を保證する道であり、我等の否、社會民衆の正當なる要求であり權利である。

思ふまゝに

中川俊雄

一　社會の進化

人類はアメーバから幾多の變遷を經過し、然して現在の人類迄進化して來た。斯くて吾れ吾れは過去知り現實を見極める時に未來に措いて尙一層人類は智的進化をするであらふと、想像する事は出來る、吾れ〱は人類の進化を決定的に信じると同事に、社會の進化も人類の發展進化と同じ法則に依りて進化する事を知る、何んとなれば人類の進化は必然的に社會の進化であるからである。此の點に付いてマルクス經濟學に依ると「過去の凡ゆる時代を通じて曾つて見ない。此の大なる加速度を人類進歩の上に加へたものは何んであるか。其は疑ひもなく蒸氣力油力及び電氣力を原動力とする大なる生産機械の發達夫れである、十八世紀の中葉以際人類は擧げて其の驚くべき機械考案の渦中に投じた。」斯の如く人類

史的土地と農民

湯原彦三

昔し人類が群生活をして居た時代には土地は何人の所有ともなく共有のものであつたことは異論のないことである。

自然の神は人間に廣く云へば地球上に生を受けて居る生物に土地を與へた。即ち土地は空氣の如く、水の如く、光線の如く人間にはなくてはならないものである。一日たりとも土地なくしては生ることが出來ない即ち土地は我々人類が自然の神より與へられたる恩惠である。

大昔しは人類は群生活をなし現代蒙古等に住ふ遊牧の民の如き生活をなして居たのが、追々と部落を造り自己の部落のためには一命をも顧り見ず自己の住ふ部落を守り進んでは他部落と戰ひ他部落を征服する。已に其時には部落には部落の頭が出來自己の所有欲と生存欲とを滿足せんがために多くの部下を指揮して他部落を占領したものである。其時代には土地は幾等でもあつた。即ち共有であつたのである。それが追々と進んで人間も多くなる人間が多くなるにしたがつて土地が狹くなる即多くの部下を持つことより多くの土地を持つ方が有利となつた。

こゝに於て各地に閥族が峰起なし各地に領地と農民とを專有し已に中古の頃に於ては大友とか物部とかの閥族が時の天子を凌駕する勢ひとなり天子あつて天子なき有樣となつた。こゝに於て中古の時代日本の紀元一三〇五年あの大化の革新が施行せられ時の皇太子、中大兄皇子は天に雙日なし地に二王なし天には二つの太陽はない土には二人の天子はないと云ふて、皇太子自ら自己の所有の班田三百有餘ヶ所と自己の屯倉八十一ヶ所とを時の天子に返し範を各地の閥族に示し續いて各地の閥族も自己の所有する土地及それに附隨する農民を時の天子に返すことゝなつた。こゝに於て班田收授の法と云ふ法律が出來天子は日本の國民は男子一人に二反、女子は其三分の二の田地を生れ乍らにして時の政府より授けられた。

併して六ヶ年目に戸籍を徴査なし家族の人員をしらべ班田收授が行なはれた。太古共有であつた土地が私有となり、紀元千三百〇五年、今より一千三百年前に孝德天皇の時代に土地國有が實施せられたのである。其時の年貢は土地一反歩に付き藁二束二把即今頃の米に正すと約二斗の年貢で耕作が出來たのである。二十年後には六年目の戸籍の調査が十二年となりしも約五十年間確實に班田收授の法が實行せられたのである、其後各地に武士が起り源頼朝が鎌倉に幕府を開き天下の政治は武家が挙る有樣となつたが長く天下を制定せず戰國時代となつたのである。彼の戰國時代は實に武家階の智的發展は經濟的には資本主義になり、製産界工業界には產業革命となり、社會的には封建制度を變革して資本主義制度となつたのである。以上述べた如く人類の進步は必然的に社會の進步であり、社會の進步は又必然的に人類の進步である。开は結果は原因になつたり原因は結果になつたりするのであまり變はりはないと思ふ。斯くて社會は原始共產制より、奴隷制度に、奴隷制度より、封建制度に、封建制度より、資本主義制度にと各階梯を經て來た歷史的產物である。

二　日本に於ける社會主義運動勃興

斯して社會は資本主義制度となり支配階級と被支配階級の二大階級の對立となつたのである。『私しは日本に於ける社會主義運動の必然性なる事を述べんとして思ひも及ばぬ横道にそれて了つた併乍ら私しは人類の進化は必然的に社會の進化である事、社會の進化は必然的に又人類の進化である因果關係を馬鹿々々しくもクド〳〵と書いて來た。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

級所謂る領主が土地と農民との奪ひ合ひの戰爭であつた。併して徳川家康が最後の勝利を占めあの三百年間の徳川幕府の武家政治の基礎を開いた。併して士農工商の階級を作り農民は武士の次に位すべきものであるとなし實に國の寶であると稱へ其實百姓は『食はすべからず殺すべからず』と云ふ政策を取つた。

百姓は充分に食はすと働かないから食はしてはいけない。併し農民がなかつたなれば國が立ち行かんから殺してはいけない、即食はさず殺さずと云ふ政策を取つた。そして農民の作つた收穫米の凡そ六割は御用米として領主が取立つた。年貢米が拂へないで村を追はれた百姓は牢に投げ入れられる遂いには水責め火責め打首とあらゆる慘虐が行なはれ泣く子と地頭には勝てないとは其の時代の百姓の歎聲である。併して武士はあの豪奢な大名暮しをした徳川の末期は近ずいた。弓持つ士は弓は袋に太刀は鞘についに武家が女の姿をして歩くあの元錄時代の如き世の中を生んだ。

徳川の末期には武士は町人に金を借りる。ついに大名に到る迄御用商人に借財が出來、武士は町人に頭が上らない世の中となつた。國の政治が圓滑に行かない世の中には不平が起る。ついに志士が各地に起つて明治維新が大成せられ再び政憲は天子に返へり、廢藩置縣の制度が行はれ各地の大名小名は領地を天子に返還した。あの明治維新の際土地國有を斷行すれば易すく土地國有制も出來たのであらふに、時の政府に金無きため二足三文で土地を賣り飛ばした。維新の際には東京市中の土地でさへ坪二錢内外で政府が賣たとのことまして田舍の田地は無代で與へたものが多かつたとのことである。所謂る酒樽付きの田地鷄付きの田地とか云ふ言葉の起きたのは此時代のことである。土地は領主より政府に返還せられたが、一部分の農民は目ざめたが大多數の農民は今だ永き因習の眠りよりさめることが出來なかつた。ついに領主に更ふるに時の智識階級に土地は私有せられ現代の如き不勞所得者たる地主階級が生れた。

明治維新は實に國民の過半を占める、農民には經濟上の利益をもたらすことは出來なかつた。

明治の世の中は地主專横の世の中であつた。村で搾つた小作米は公債となり株劵となり村の金は都會へ〳〵と走る。農村疲弊の聲は全日本の小作人の叫びであつた。

ついに明治の世も去つた大正の世の中となり今迄地主と小作人は親子なりとの地主階級の宣傳も其効なく今や目覺めたる農民は地主とは如何なるものか、小作人とは如何なる境遇に置かれてゐるか、現代の政治とは法律とは議會とは何の爲に存在してゐるか小作人は其等の政治によつて法律によつて何物を得てゐるであらうか。と云ふ根本問題を知るに至つて期せずして反旗を翻へし農民運動の火の手は燎原の火の如き勢ひを以つて全日本に擴大した。

農民は現在の儘では到底食へない若し此の儘我々は默々として働くとせば其の前途には唯だ餓死あるのみである全日本の農民よ團結せよとは實に餓死線上にある農民の叫びである。

此れから日本に於ける社會運動に就いて泣事を並べて見よう……日本に於ける愚昧な資本家、僧侶、小學校の先生、軍人特に將校、地主連は社會主義運動の勃興を社會主義者の『揑造獨創、氣儘者、不平家、歐洲の社會主義理論――歐洲の社會主義者は主として壓制制度の下にあつて常に迫害されてゐたと彼れ等は云ふ――を直譯し以て日本の國民性に返し日本をして歐洲異に露國の支配下に置かんとしてゐる國賊であると揚言してゐる』彼れ等の言たるや何等執るべき根據なき、誤謬の交錯である。

封建制度より脫したる日本國家は歐洲其他文明先進國から今迄の封建的手工業に替る大機械は輸入された此所に始めて資本主義と云ふ種子は植つけられたのである。此の時に軍人や僧侶や、資本家などが口を極めて憎惡し譏謗してゐる社會主義の種子はすべて其の内に含まれてゐたのである。其の後資本家製產の急激な發展に伴い、其の内部に植付けられた社會主義の革命的要素は頭角を現はし一大發展

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

農民運動の社會主義化

安田三郎

我國に於ける農民運動は眞に燎原の火の如く、全國到る所に燃上しつゝある。『農村に危期逼る』とか『農村を救へ』とか云ふ言葉は、ブルジョア新聞の合言葉となつた。彼等の所謂『農村』と稱するのは地主の階級を指すのである。然り、地主の運命には既に危期が逼つて居るのである。地主は既に悲鳴をあげつゝある。

（壹）

昔或る國の傳說にミカエルと呼ぶ者がゐた。彼は廣漠として果てしない大平原を休みなく耕さなければならない運命を持つて居るのである。際限なき廣原を耕し盡すことは到底出來るものでない。遂にミカエルは耕し疲れて倒れ死に臨んで『げに耕す者は食する者でなく、食する者は耕さゞる人である』と云ふ悲痛な言葉を殘した。現今の農民（小作人）の運命は實にミカエル其のまゝである。

何となれば米を作るのは小作人である。併し果して米を充分に食し得る小作人があるだらうか。朝に星を戴いて野に出で、夕に月を仰いで歸る。身體の續く限り働いてしかも一生涯、人間らしい生活も出來ず、疊さへない堀立小屋に、麥や野菜を以て僅かに命を繋ぐに過ぎないであらう。

然も此の狀態は最近起つた事ではない。遠く數百年の昔から小作人の總ては農民の運命だと忍び甘んじて來たのである。〇〇〇〇〇〇〇〇〇、〇〇〇〇〇〇

〇〇〇『〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇』〇〇〇〇〇〇〇〇。又德川時代に於ける農民は實に悲慘なもので『百姓は生き過ぎぬよう、また死なぬように絞るべし』と云ふ家康の意見に從つて、遂には『農民と胡麻の油は絞れば絞る程よく出る』と云ふ暴言を吐く者すら現はれた。

是れに依つて見ても、小作人の悲慘な狀態が、既に德川時代に於て如何に甚しかつたかと云ふ事は明らかに知ることが出來るであらう。

更らに數字に依つて說明すれば、一日十二時間乃至十五時間の勞働、しかも夏は炎熱燒くが如き酷暑、冬は寒風肌を刺すが如き酷寒にあつて、其の得たる勞働の報酬は僅か一日拾五錢乃至貳拾五錢と云ふが如き、驚くべき數字を示して居る。一年中人間らしい生活もしないで、しかも身體の續く限り働いて、しかも得る所は二拾圓乃至五拾圓の借金だと云ふに至つては、如何に忍從を美德とする我國の小作人と雖も、起つて、生存權の要求を叫ばざるを得ないのである。

（貳）

搾取―壓迫―困窮―煩悶―かくして小作人の反抗運動は發生したものである。この反抗運動は最近起つたものでなく、すでに鎌倉時代より土一揆即ち『百姓一揆』なる反抗運動は、我が國の社會史に現はれているを爲した。此れ即ち資本主義社會發展の副產物として〇〇〇〇〇〇、曰く勞働運動それに伴ふ勞働爭議、失業問題、小作爭議、政治的には無產政黨等の〇〇〇〇〇〇〇〇〇それである。

資本主義治下に於ける社會主義運動とは、搾取し其れに依りて自己の享樂を計る階級支配階級と自己の生存上生活の安定を得る爲に搾取させまいと努力する階級無產階級との鬪爭である。

〇〇。〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇。〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇、〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇、〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇。

〇〇〇〇〇〇〇〇『〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇』〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇。英國のマルクス學者ハイドマンの謂ふ所に依ると『斯かる意味―社會の漸進が內部的並びに外部的

　奥州白河の百姓一揆（享保五年）久留米の一揆（寶曆四年）、但馬生野の一揆（元文四年）等枚擧に遑なく、久留米に於ける一揆は、農民二十五萬人の暴動で、生野の一揆は銀山の坑夫と農民の聯合運動で、天草以來の騷動と稱せられた。天明七年五月大阪に於て火蓋を切られ、全國に波及した所謂『天明の打ちこはし』の如きは、小作人が中心としての百姓一揆であると見る事が出來る程であるが、之れは一時的のものであつて、何等かの機會に日頃の鬱憤を爆發させたものに過ぎなかつた。確固たる組織の下に團結して、根强く自己の利益を主張する、近世的の小作人運動では無かつたのである。

　併し乍ら羊の如き小作人も、次第に迫まる經濟的壓迫と、階級的自覺との爲に、漸く其の忍從を捨てゝ地主に對する反抗運動を開始するに至つた。

　明治八年岐阜縣に初めて永續的の小作人組合が生れて以來、徐々と發展して最近急に勢を得て、現在に於ては總數四千七百餘に及び、尙次第に增加しつゝある。小作人組合の單位は字でなく、村でなく、縣聯合組合の成立となり、更らに全國的總聯合となり、今日に至りては日本農民組合と、新日本農民組合の成立を見るに至れり。

（參）

○○○○○○○○○○○○、○○○○○○○○○○○○○○○○○。新聞記者や學者の『小作人組合は小作人の利益擁護と、地位の向上を目的とする永續的な小作人の團體である』と云ふ說は全く眞相を知らざる者である。或る小作人組合では『地主が居なくても誰れも迷惑する者がない。地主は何處なりと勝手に行つて了へ』と叫んで居る。又岐阜縣の或る組合では、地主と爭議中『今年三割、來年四割小作料を下げろ』と云ふ歌を唄つて示威運動を行つたと云ふことである。

　現在の小作人運動は表面より見れば、單に小作料の引下げを要求しているのみの如くであるが、○○○○○○○○○○○○○、○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。過去に於ては例へば土地返還とか、小作料不納とか云ふ純經濟的手段のみであつたが、斯る經濟的鬪爭のみでは目的は達せられない事が分り、政治運動を起した爲に、農村に於ける政治機關は次第に小作人の手に移りつゝある。其の結果地主の獨裁は漸く瓦解せんとしつゝある。

　小作人諸君よ、斷じて搾主階級の獨裁を放任せず、階級戰の主要武器として凡ゆる政治機關を利用し、村會、村農會等を占領し最後の目的を達成しなければならぬ。

　されば政治運動を否定する事勿れ――政治機關の無視、政治運動の否定は掠奪階級の陷穽である事を忘れてはならぬ。

　我々は今日政治運動否定などと云つてはならない。

　現在では今だ都市の無產階級と同じく小作人は搾取せられる階級として、搾取制度に○○すべき地位に置かれている兄弟の階級であるから、都市の勞働者と協同の戰線に立ち、○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○、理想の社會建設の途に向つて雄進せねばならぬ。（完）

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○――○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○、○○○○○○○○○○○○○○。○○、○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○、○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○、○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○、○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○、○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○」○○○○○○○○○○――○○――○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（○○○○○○○○○○○）○○○○○○○○○○○○○○。○○、○○○○○○○○○

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

農村勞働婦人の生活改善を叫べ

蜂屋甫曄

工場に鑛山に從業する婦人勞働者の生活は曲りなりにも改善されて行くが、而し見よ！ 取殘された形にある、彼女等一千萬の農業勞働婦人を。身にはつぎの上につぎを重ねた、乞食にも勝る衣服をつるし、その食物は牛馬と共にする位の、否！ 牛馬も顏をそむける許りの粗食に甘んじて居るではないか且つ彼女等は毎日十時間以上の勞働をして尙滿足とは思はない。夜業迄おこたらないではないか。それを見ても如何に彼女等の仕事が激しいかゞ知れやう。工場鑛山の比でないことを。

彼女等は田も畠も耕す。草も刈る。男の中に交つて何等男の仕事と變らない仕事をやつてのける。否それ以上のこと迄する。何等男性と異らない仕事だ。その上數人の子の敎育と、炊事がある。その報酬は何んだ。

若し彼女等が道樂でかく働くとしたら、かゝる着物も、かゝる食事もしない筈だ。又彼女等の前にどんな慰安がある。どんな歡樂があるか。只借金の利子の重さを算するのみだ。

「田舍は呑氣でいゝ」と言ふ人が多い。それは遊ぶ人の言葉だブル階級のはく寢言だ。今假りに俺の父の俺に對する訓話を聞け『田舍は呑氣だと言ふ奴はおそらく都會でも呑氣であるに違ひない。只田舍は電車や自動車に挽かれる心配がない許りだ』と、然らずや。その呑氣人が今何のかんのと自分勝手な熱を飛ばして居る。

尙彼女等の改善策を講じた人々が何人あるか？ おそらく一人もないと思ふ。皆本の申しわけを言つてゐる。これが彼女等の慰安になると思ふか？ 歡樂（歡樂と言ふがそれは年一回もないから）が出來ると思ふか。

地方に於ける婦人會、處女會等は何の爲めに存在してゐるのか。俺は問ひたい。だが然し農村婦人の生活改善を之等の婦人會、處女會等に要求するのは或ひは間違つてゐるかも知れない何故かなれば婦人會、處女會等の所謂役員は何づれの地方に於いても其地方のブルジョアの或ひはプチ、ブルジョアのらくら妻君やどら娘ばかりであるからである。之等は唯用のない儘に暇つぶし、旁々呑み食ひ旁々其の所謂會を組織し、プロレタリアの婦人に向つて入會を奬めてゐるのである。

婦人參政權がなんだ。先覺婦人がなんだ。婦人の同志もある筈だ。それ等の人々は目先の巧名を爭ふ前に、先づ自分の塵をはらつてはいかゞであらう。俺はこの問題を解決しない限りかゝる幽靈は解らない見えない。

一千萬人の彼女等同胞を救へ！ 慰安を與へよ！ 少しの心の和ぎも持たない彼女等を一日も早く自由に解放せよ。

救へ！ 救へ！

叫べ！ 叫べ！

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○、○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○、

○○○。○○○。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○—○○○○○○○○○○○○○○—○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○—○○○○○○○○○○○○—○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○、○○。（完）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

無產階級法律問答

布施辰治

新聞雜誌の差押に就いて

▽問△

（一）發賣頒布を禁止された出版物と雖も一冊丈けは差押へられないとの事なるが如何？

（二）新聞紙法に依る差押へも出版法に依る差押へも同一なりや

（三）發禁出版物の差押を免がれる爲に燒却しても公務執行妨害罪にはならざるや

▽答▽

一、發賣頒布の禁止處分を受けた新聞雜誌單行本等に對する差押へ問題に就ては、一度本誌の無產階級法律問答で叮嚀詳細に解說した事があると思ふが、其の後も屢々同問題に就て個人的の質問に接する。殊に京大事件以來文部學務當局の學生に對する社會科學研究の監視が喧しくなつて來た結果と、もう一ッには、例の治安維持法實施以來、內務警察官憲の神經が大變過敏になつた結果、諸方に同種の問題が惹起さるゝものと見えて、近來頻繁に同問題の質問に接するから、今一應同問題に對する、私の所見を公開解答する。

二、新聞雜誌單行本等の出版物に對する發賣頒布の禁止處分は、新聞紙法第一條第十二條に依り一定の題號を用ひて時期を定め、又は、六ヶ月以內の期間に時期を定めず、保證金を納めて時事問題を論議する處の出版物が、大體新聞紙法に據る新聞雜誌と解釋し、以上の解釋上新聞雜誌に屬せざる單行――例へば、事實內容形式等全然雜誌と區別する事の出來ないやふなパンフレット等の出版物でも、夫れは、出版法に據るものと解釋して間違は無いと信ずる、そして、新聞紙法に據る出版物の發賣頒布禁止處分は、同第二十三條「內務大臣は新聞紙掲載の事項にして安寧秩序を紊し又は風俗を害するものと認むるときは其の發賣及頒布を禁止し必要の場合に於ては之を差押ふることを得」「前項の場合に於て內務大臣は同一主旨の事項の掲載を差止むることを得」及同第二十四條「內務大臣は、外國若しくは本法を施行せざる領土に於て發行したる新聞紙掲載の事項にして安寧秩序を紊し、又は、風俗を害するものと認むるものは、本法施行の地域內に於て其の發賣及頒布を禁止し」「必要なる場合に於ては之を差押ふる事を得」とあつて發賣頒布の禁止處分には、必然的の差押を伴ふものでは無い事を明かにして居る。單に發賣頒布を禁止したのみでも、發賣頒布の禁止頒布を禁止したのみでも、發賣頒布の禁止處分を受けた發行者が、其の命令通り絕對に其の發賣頒布をしないと思へば、敢て之を差押へない、又發賣頒布の禁止命令を受けた發行者が當該出版物を燒却でもして仕舞へば素より差押の必要が無い、只差押の必要のあるのは發賣頒布の禁止處分を受けても、其の處分に從はず同第三十八條に謂ふ「第二十三條に依る禁止若しくは差止の命令に違反して發賣頒布をしたる時は、六ヶ月以內の禁錮三百圓以下の罰金に處す又其の情を知りて、其の新聞紙を發賣又は頒布したる者は二百圓以下の罰金に處す」とある規定を犯して發賣頒布をする虞のある場合にのみ之を差押へる事になつて居るのである。

現に發賣頒布の禁止處分を受けた出版物の差押に就ては、又別に、同第三十九條で「差押處分の執行を妨害したるものは六ヶ月以下の禁錮、又は三百圓以下の罰金に處す」といふ規定を設けて居る點から見ても、發賣頒布の禁止處分と其の差押へとは全然別個

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の行政處分だと云ふ事が判かるであらう。

新聞紙法に據らざる出版物の發賣頒布禁止處分は、出版法第十九條「安寧秩序を妨害し又は風俗を壞亂するものと認むる文書圖畫を出版したるときは内務大臣に於て其の發賣頒布を禁し其の刻版及印本を差押ふることを得」の規定に據るのであるが、之れ又新聞紙法同樣發賣頒布禁止處分と、其の差押とを別個の行政處分なりと解すべきものである、故に發賣禁止には必ず差押が伴ふもの丶如くに考へて居るのは法律上の正解でない、然るに發賣頒布の禁止處分と差押とを必然不可分の如くに考へて居る警察官憲の態度は、根本的の間違ひだと云ふて良いのであるが、然かも以上の新聞紙法の出版法に據る發賣頒布の禁止及差押行政處分は發行者等に對する規定であつて新聞紙其のものに對する規定では無い。

漫然新聞紙法及出版法の規定を讀むと、新聞雑誌等の出版物に對する差押であるが如くに考へて、苟くも發賣頒布の禁止處分を受けた新聞雑誌は何人の手にあるを不問ごんごん之を差押へ得るもの丶如くに考へるかも知れないが、發賣頒布の禁止處分は讀んで字の如き發賣頒布の禁止處分である。即ち之から發賣頒布せんとする者に對する禁止處分である、從つて其の差押も亦之から發賣頒布せんとする者に對する差押へである事は文理解釋上一點の疑がない、況んや發賣頒布の禁止も差押も共に一種の行政處分である事は何人も之を爭ふ者はあるまい、同時に、此の種の行政處分は其の命令を受けた者にのみ有効である事を爭ふ者もあるまい、而已ならず新聞紙法や出版法は所謂出版物を編輯發行即發賣頒布せんとする者に對する取締法であつて、其の出版即發賣頒布を受けんとする者に對する取締法では無い。といふ事を考へたら發賣頒布の意思も目的も持たない者に對して發賣頒布の禁止處分や、差押處分やの效力が及ぶといふ譯は斷じて無い。

從つて質問者の云ふが如く一部丈けの所持者に就ては所有權があるから差押へられないと考へるのは拙いが全然發賣頒布の目的を有せざる者と推定せらるゝ一部の所持者に對しては所謂發賣頒布の目的を有しないといふ點に於て差押へらるべきものでは無いといふ事になるのである。

此の點の解釋は隨分微妙だから能く一般の理解に愬へて置き度いと思ふが、假令一部の所持者でも發賣頒布の目的を持つて所持して居れば、差押へらるゝといふ事になつても詮方がないといふ事になる、假令二部でも三部でも圖書館の樣な處に備へ附けて置くのであつて發賣頒布の目的を有するもので無いといふ事が明瞭なれば差押へを受くべきものでは無い。但し事實上、個人が二部も三部も持つて居れば自然發賣頒布の目的を有するものだと看られ勝ちであるが、單に一部丈け所持して居て、それに誰々の所有といふ判でも押してあれば明かに自己所有の爲の所持であつて、發賣頒布の爲の所持では無いから、差押へられないといふ事に解釋して間違がないと信ずる。

新聞紙法に據るものでも出版法に據るものでも此の間の解釋に二ツは無い。

次に發賣頒布の目的を有するものと認めて差押へを受けやうとする場合にそれを燒いて仕舞ても、公務執行妨害罪にはならない。公務執行妨害罪の構成には公務員に對しては暴行脅迫を加へて、其の公務を妨害する事が條件となつて居るが質問の場合は目的物件に對する燒却であつても、公務員に對する暴行脅迫ではない。

但し前に擧げた新聞紙法第卅九條の差押妨害罪に亙る事は已むを得ない。

本欄の法律問答の質問に最近餘り來なくなつた。地方にある讀者諸氏は種々な問題に對する法律的解釋に惱んでゐるであらうから遠慮なく本社宛御送り下さい。（係り）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

解放運動史上の人々

フランツ・メーリング

淺野研眞

一

フランツ・メーリングは、云ふまでもなく獨逸に於ける社會運動家として、また論客として有名な人であつた。即ち彼はマルクス及びエンゲルス時代以後ベーベル及び父リーブクネヒト時代に次ぐ、カウツキイ及びベルンシユタイン時代から、子リーブクネヒト及びルクセンブルグ時代に亘つて、獨逸社會運動史上に主要な地位を占めた人であつた。彼は多く獨創的でなく所謂花形的ではなかつたが、彼の功績は決して少しとはされ得ない。彼の『マルクス傳』及び『獨逸社會民主黨史』などは、確かに雄篇たるを失はないものである。

メーリングは一八四六年にポメラニアで生れた。初め文學者たらんとしたものゝ如く、その方面の研究物も二三ある。後ち『ノイエ・ツアイト』の編輯にも携り、社會民主黨の主要人物となり、大戰後はスパルタクス團に加はり、大いに爲すところがあつた。以下私は主として、アスケウの追憶文によつて、彼れメーリングの俤を傳へて見たいと思ふ。

二

フランツ・メーリングは、大戰中に獨逸でスパルタクス同盟を創設した勇敢な人々の小團體中では、恐らく最も著名な人物であつたが、カール・リーブクネヒト、ローザ・ルクセンブルグ、クララ・ツエツトキンの誰れよりも、世界に多く知られて居ない。彼の名が獨逸以外で有名でない理由は、彼は演說者でなく、殆んど公開の演壇に立つて語つたことが無かつたからであり、また會議に於ても、實際的には知られて居なかつたからである。彼は第二インタナショナルの會議には、出席したことが無かつたやうだ。何故と云ふに、その議事に對して、彼は尊敬を拂ひ得なかつたからだ。

三

メーリングの强かつた點は、確かに彼のペンの支配であつたのである。評論家として、また雜誌記者として、彼は勝れた才能を有して居た。彼は獨逸に於ける同時代人中の第一流の著作家として一般に承認されて居たのである。全く彼は一流の學者以上に、獨逸史の廣汎なる知識を有して居た。此の事が彼をして、議論に於て、最も怖るべき敵手たらしめたと共に、黨內に於ても、重要な鬪士たらしめたものだ。駁論者が何を持ち出して來やうとも、彼は常に其をプロシアの歷史から駄目な事實を引用して來て、逆ネヂを喰はしたものだ。

彼の文學上の知識は、極めて廣いものだつた。そして決して獨逸文學にのみ閉ぢ籠つては居なかつた。彼の書いたものゝ中には、レッシングや、シルレルに關するものがある。彼は其の論文集『美術行脚』中に於て、マルクス主義の方法を文學や美學の問題に適用してゐる。メーリングは非常に器用な人で、豫め備えた標準で以て、美學上の著作、其他何んでも、實際、良く判斷した。そして彼は常に、所謂唯物史觀なるものは諸問題を解くべき秘鍵として考へらるべきであり、諸事實が其に當て嵌められねばならない所の無理合せの物差しとして考へられてはならない、と主張してゐた。殊に彼は機械論的な適用方法には、總て反對した。エンゲルスと共に、彼は、唯物史觀の最良の守護策は、主觀に立脚する抽象的な諸議論に於てよりも、むしろ現實問題の解決への其れの適用の中に見出される、と感じてゐた。

メーリングの著書は、確かにマルクスの史的方法が力ある勞働者の手の中で完成され得たと云ふ立派な例である。且つ如何に少しとは云へ、人々は彼の論著に同意し得る。即ち彼の論著は、決して愚鈍なものでもなく又沒趣味なものでもない。

全く誰れも、獨逸の教授共の

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

長談義的の著述と比較して、彼をより多く輕蔑しなかつた、教授共の權力への隷屬は、彼の野生的な詼諧よりも、むしろ彼の正直なる忿怒を換起した。科學的であるためには、歷史は必然的に愚鈍でなければならないと考へて居る所の、此等の人々に就て、彼は其の著『マルクス』の序文中に、次の如く述べてゐる。曰く『恥かしいこと乍ら、私はより强直な思想家等ほどに徹底的にブルジョア社會を嫌はない。即ちより强直な思想家等は、ボルテールに復讐するために、面倒な筆法をば、唯一の爲すべきものと考へる。マルクスは彼自身、全く此の點に立つてゐた。古代ギリシヤ人と共に、彼は九柱のミューズ神の中に、クリオ神を數へ入れた。確かに唯だ彼は、ミューズ神の中の他の神に輕視された所の神を輕視した』と。約言すれば、歷史は藝術であると共に、科學であらねばならぬ。即ち最善の意味に於ての藝術であり、科學であらねばならないのである。

四

彼の立派なる天賦にも拘らず社會黨内に於てメーリング程、より深く疑はれた人はない。長年の間、彼は此の偏見と戰はねばならなかつた。然し終に其は一九〇三年のドレスデンに於ける黨會議に於て、最もドラマチックな一連の場面に於て、その頂點に達したのであつた。即ち此時には、決然たる一擊が、右翼の黨員から、彼に與へられたのだ。彼等は彼を無理由でなく彼等の敵手中の最も怖るべきものとして、稱したのであつた。左翼それ自身の隊伍の中に於てさへ、彼は僅かの眞友と、多くの心から彼を好まないで、且つ信じない所の友人を有してゐたその理由は、六十年代の終り頃に入黨した彼が、トライチケの運動上に關する攻擊に答へて一著作を書いたからである。丁度三、四年の後に、彼は黨内の或る要素と隙を生ずるに至り、靑年の全衝動を以て其の閉體を去り、猛烈な駁擊書を出版した。此の駁擊は、社會黨鎮壓令の約一年前に現れたもので、黨には若干の損傷を與へたものであつて、古い指導者等は此事を決して忘れてゐない。

フランツ・メーリングの眞の性質は、ビスマルクによつて出された兇惡な社會黨鎮壓令の施行期間の中に知られた。彼は彼の苦難を日和見主義者と共に拾てゝ、黨と再び連合した。即ち當時は、再連合することは危險であつたが、然し助力を必要として居た時だつた。此は大膽なやり方であつた。と云ふのは、當時に於ては、メーリングは最も貴重な伯林の一新聞の記者であつたからだ。いふ迄もなく、彼はその地位を失つた。不信任の感情が殘つて居て、右翼の影武者連によつて功妙になされてゐたが、遂に二十五年後の一九〇三年のドレスデン會議に於て彼等は彼をやつつと黨から追ひ出すことに成功したのだつた。

どんな攻擊をも、彼れメーリングは、若かりし日には、黨内の特定な傾向に對して敢へて爲したであらう。彼が再連合した所の態度、及び彼がさうしやうと決めた所の批判的期間は、非常に長年の經過の後に彼を保護するに充分となつたのかも知れない。然し、下らない噂が同志の心を非常に毒した。そしてメーリングが黨の闘士であるために、其の良い地位を失つたと云ふ事實が忘れられて仕舞つた様だつた。尙は然し、その下らない噂が一九〇三年に再發して、ためにメーリングが何とか答へねばならなくなつた時、彼は其を最も有効に行つた。そして其の事件に就ては、其れ以上何事も知られて居ない。所が十六年を經て、彼が死んだ時に、著名な一著作家は、贊成的にベーベルが彼のことを心理學的謎と云つたのを引用した。然しメーリングの陳述の後に、其をベーベルが繰り返したか如何かは、より多く疑問である。然し、何れにしても、ベーベルが、メーリングに關する嫌疑に滿ちてゐた雰圍氣中に於て語つたのであることは、絕對に確かである。當時に於ては、左翼に屬する同志でさへが、『メーリングが今その地位を失つたとて構はない。彼は轉換しないだらうし、又もう一度我々を引き裂くだらうから』と云つた。而して彼の立派な才能が把んで居た所のものに就ての或る恐怖が、疑ひもなく可なり一般的だつた。（未完）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

全土戰報

妄想

○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○、○○、○○○○○○○○○○○○○○○○○。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○、○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○、○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○、○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○、○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

○(○)○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

○○、○○。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。一九二六、三、一〇

（藤本龍雄）

呪ふべき權者の聲斷

純然たる無産青年の團結を以つて誇る我が自治獨立土崎青年團に夏季大會に於て組織の大變更を決行す、純潔剛直大膽な實行に移り現實生活の向上を期すべく遂行の第一步として、過去の因習にとらはれた青年自身のあぶなつかしい思想教化のため勞働學校を開設計畫す、その場所として小學校の講堂を借りる事に內定す、諒解を得んがため町理事者を訪問せるに神經過敏なる町長を始めいづれも頑迷な老ぼれの學務委員達は周章狼狽す、勞働學校は危險思想を吹込むものと思つてか「夜間放課後のこと故差支ないやうなものゝ長期にわたる校舍の解放は警備上不安である」と言ふ理由で我々の要求を拒絕されたが、我々町の青年が町の學校を使用するのに拒絕するは矛盾である、又補習教育の盛んに獎勵する今日我々が自發的に開かうとするのにあまりに無理解であると數回町長學務委員を歷訪し懇請したがどうしても聞入れず、我々の運動の進行を妨害されたが正義に燃える我等無產青年の覺悟はかゝる橫暴迫害にひるまず、青年を盲目たらしめんとする權者を葬れと町理事者の糺彈大演說會を開き、來るメーデーを期とし彈劾の大示威運動を行ふて我等青年の潑溂たる威力を示す一方團員の日覺しい奮起と有志の援助を得てバラック造りの勞働學校を建設す、未來は青年のものなりと躍動して居ります

（秋田縣土崎港　村田善吉）

プロよブルよ共に見覺よ

プロレタリヤ！は何故ブルヂョアジーのために虐げられればならぬのでせうか、此處土浦町に起つた小さな出來事であるが一寸感じたから貴重な本紙を汚す事に致します。

土浦町には現在日刊新聞支局は九社にして外に週刊月刊で六社程あるが、旬刊連中と日刊記者連とは常に相反目してさながら犬猿の仲の樣になつて居る、然るに本春早々眞鍋町に支店を置く帝國貯藏銀行土浦出張所にある面白からぬ事件が起つたので、同支店では新聞記者の筆止め料として百圓とか二百圓とかを時事新報土浦通信部主任今井源治と云ふ人に託し各新聞記者にやつてくれと云つてたのんだのださうな、處が今井氏は薄給のため生活にも困る處から右の金を二三の記者連に幾分かを分けてやつただけで餘は自己の生活費に費消してしまつたとか云ふのを聞き込んだ箱田弘と云ふポリス上りの旬刊子が自己が發行して居る常總日曜新聞に約三段程今井氏の惡口を書きならべたのだ、尤も其大部分は捏造ではあるがとにかく其旬刊の記事が原因で今井氏は一回の警告だに本社からはなく去る六月十三日突然馘首されたのである、當人の今井氏は云ふまでもなく何等關係のない人達もどんなに驚いたかしれない、そして時事社の無情なやり方をうらんだであらうか、かりに今井氏が惡いにしても今日まで本社のために專心努力を續けてゐたものに對して一回の警告もなく馘首するとは冷酷と言はうか慘酷と云はうか私には之れに對して云ふ可き適當の言葉がないのである、恰度德川時代の大名の樣である、德川時代の大名は如何に大切な家來でも他所に出て少しでも不都合な行爲でもあるとか平民にでも殺されるかするとそんな者は當家の家來ではないと云つて取合はなかつたと云ふ事を聞きおぼえて居るが、大正の今日でもやはり德川時代の大名は幾何でもあるのだ時事よなにも馘首するには及ばないではないか觀勤で

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

もサラリーを一時下げるとも道は幾何でもあるのだ、醒めよ人切り庖丁を挾む時代ではないのだ世は大正だ醒めよブルふるへプロそして共に正義の大道を進まうではないか。

（茨城　好陽生）

眞の同志は得難きもの

僕が支局を引受けて以來早つ三ヶ年になる、其間同志及び希望者に雜誌を配布して居るが全くの眞の同志と信ずる者は些少である、最初は何れも無産階級勞働者であると自稱し體裁よき一廉の思想家らしく放言して居るが、何日の間にやら一變して欲望的賣名運動家となり雜誌只見と云ふ有樣には聊か愛想が盡きる、殊に甚だしきに至つては僕が取扱ふ「進め」誌の配布を妨害し又は讀者に對し奸言を弄して邪寬立てする輩等あるを聞知す、又或る奴は「進め」誌は無產階級運動を攪亂させるもので あると稱して吹聽する者ある事をも耳にす、最も斯樣な人間は慾望的空想主義者であつて朝に夕に變節する者であるから僕等は彼等を相手にはせんが、近來此の種の奴等が多いので同志が浮腰になるのには閉口する斯ふ言ふ狀態で全く眞の同志は得難いものである。（岡山縣　倉本晃南）

實際運動をやれ

敢て僕等が言ふ迄でもなく近來諸種の運動が盛んになつたことは至極結構であるが動もするとお祭り騷ぎに終ることがある、僕は勿論民衆運動にも參加し又必要とは信じて居るが、先づ吾が足下から作られば前進は出來ぬと思ふ、故に僕は自分の從業せる工場及び吾が關係工場の無產職工をして同志を作り、假令少數なりと雖も堅實强固なる決心を以て實際運動をなしつゝある、現に賃金休日問題等も實行した、世には大言を豪語し或る思想家の言を取次する奴もあるが夫れは否である、僕は大衆運動と共に小なり共實際的運動を實行する事が最も必要であると信ずる僕は絕對に體裁賣名運動を排し實際的運動主義である、實行なき運動は即ち空想運動で吾々プロ階級者には何にもならぬ、吾々のなす運動はそんな簡單なものではない主義に變節なく終始一貫實際的に闘ふ事である空想的お祭運動は絕對禁物だ。

吾が西大寺町の町政は勿論言ふ迄もなくブル階級者が當局及び議員の大部分を占めて支配して居るから吾々貧乏人は何時も絕えず苦しめられて居る。彼等ブル共は最近信用組合（銀行業ト同一）を設け貧乏人を煽動して各種の貯金を勸め、其の貯金はブル共の商店や工場の資金に利用すると云ふ有樣、又ブル階級者の倅共は種々の講演會を催して搾取研究をなし、甚だしき奴は貧乏根絕論なゝ稱して吾々無產者を侮辱して居る奴もあり全く言語道斷である、又最近同町濟生會では事業の一端として遊戲場を設け實際上は町民の子供達の遊戲場なるにも拘はらず、現在ではブル階級者の子郎共の遊び場に獨占して居る有樣である、現今町當局の行ふ事が餘りに專橫過ぎるので昨今プロ階級の心ある者は寄々協議中なれば近く抗議を申込み問題を惹起せんとしつゝあり。

（岡山縣　倉本晃南）

社會主義は安全な世を造る源

社會主義の主意を知らずして惡言をはく人のあるは文明の世にかなしむ、社會主義と云はゞ惡事の仕事師の如く解する人の多くあるは文明と云へども不文明と同じである。

かゝる樣に社會主義の研究者が少數で多くの人が理解のないのは〇〇と〇〇の强制的〇〇の爲めに〇〇されて行く、此の物件に突當りて理解をうる事を希望して居るが、〇〇の物件が頑張つて居るので文明を妨たげ居ると同然ではないが、社會主義が無くては世が立つて行くか個人主義が無事に安全に進み行く事ができるであらうか。

現在社會主義が行はれて居るが社會主義の壓迫により進み行かんとせど健かにしてやむ、諸君（百里の路も一歩より）。

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇、〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇。〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇、〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇。

社會主義が安全の世を造る源ではないか、私の叫ぶ聲は小さいけれど一言千金の代金がある。

諸君よ諸君は小さく生れて大きく生き、即ち社會主義に生きて人の幸福な世を待つ。又た安全な世の來るまで大いに研究して社會に發表して現社會のために社會主義と云ふ事は我等生活上に一日として無くてはならぬ事であるこれ知らずして社會主義を罵しる者の心が何だか知れぬ、早く理解して社會主義の何物であるを知つてもらひたい。

（千葉縣　小川春秋）

勇敢なる吾等の兄弟へ

おゝ吾等の勇ましき仲間達よ吾等の勝利の日は近づいてゐる、資本家が何だ官憲が何だ彼等を恐れてどうするのだ、正義の前見えざる思想の力は決して橫暴なる權力には負けないのだ、權力によつて如何なるものも壓しやうとしても駄目だ、人間の心の中に深く喰入つた怨は何時か復讐する時があるのだ、資本家の爲めに苦しめられて來た吾等幾百の兄弟の怨を忘れてなるものか、吾等の血潮は赤く／＼燃えてゐるのだ。

〇〇〇〇〇〇、〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇、〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇、〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇、〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇、〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇、〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇。

仲間よ聞け、あのブルの嘲笑と。
仲間の痛ましき叫びとを。
おゝ戰へ〇〇なる〇〇、ブル官憲の壓迫に對して、自由の爲だ！
太陽が眞の赤き輝を放つ迄。

（石川縣D町 TY）

革進會の勝利

昨年の四月以來吾が鄕土たる岐阜縣下の一隅にある下麻生の町政紛爭問題は本紙上に於いて屢々傳へた如く即ち町長選出問題を初めとし大杉問題停車場候補地問題及町稅戶數割制定の不平等等の諸問題の大なる原因にて一般町民は紛爭を續けたが、其の重大問題を根本的に解決を計らんが爲め一般無產町民は政治的改革を實現せんが爲めに町政改進會なる大團體を組織し、無產勞働階級の利益と幸福とを無視し町政を私せんとする歷代の有力支配階級の暴政に對抗し、一ケ年と六十日有餘の長期間に亘り革進の闘士命ある限り一般町民の犧牲的精神を持つて惡戰苦闘を續け今日に至りしが愈々闘爭は白熱化し、ブルジョアジー對プロレタリアーの政權獲得運動の選擧戰は開始され、支配階級の沒落の運命を見破つた無產闘士は正々堂々と無產大衆の立場より町政改進を標榜し來るべき町會選擧戰に臨んだ、無產者黨立候補者七名は、言論戰を以つて、激烈なる、政權獲得闘爭の火花を散らし、愈々支配階級對無產大衆の最後の勝敗を爭ふ、岐阜縣下麻生町會議員選擧は去る六月十九日午前八時より町會議事堂に設けられた選擧場に於て町長井戶芳治郎氏が選擧長となり、佐合兼市、渡邊晃、佐伯和三郎の三氏の立會の下に執行され朝來の曇天を眺めて押寄せた無產町民有志者は早くも、選擧場に行列をなし順序能く投票を行ひ午後四時に至り終了した、黨派別に發表すれば當選者の結果左の如し。

資本家黨

三十三票　前島秀雄
三十二票　山口三吉
二十五票　竹腰政市
二十五票　山口東太郞
二十二票　丹羽仲右衞門
五名

中立

二十八票　小田鉄市
一名

（落選者　資本家派）
井戶金十　次點
山口鎌市　同
渡邊民三郞　同
井戶兼五郞　同

無產町民派

二十八票　奥村繁市
二十六票　村瀨逸藏
二十三票　前島平一
二十七票　土屋享一
二十六票　前島仁平
二十票　佐伯重太郎
六名

（無產派　落選無）

前表の如く今迄何等政權を把握して居らなかつた改進闘士は長期に亘り屋外運動に携り闘爭を續けしが、改選を前にした無產町民は屋外運動より議會行動に方向轉換し町民即ち大衆派立候補七名が七名多數を以つて當選を見たのであつた。是の現象は何を物語るものであらうか即ち一般無產大衆の政治的自覺と團結の他はないのである、完全に政權を握つた無產階級の代言者の大理想とする最大多數の最大幸福を大眼目とする政治的精神のモット！の下に積極的政策を取らんとする時、支配階級の獨占的暴政も一步一步更に一步と改革されやがて萬民が均しく幸福に樂しむ新しき下麻生は建設されるであらう。

六月十九日選擧の夕方
（岐阜第一支局　水野貝三郞）

無智な番犬

俺がメーデーの當日、靜岡縣警察部に高等課長を訪ふた時である。

彼奴の曰く『今日はメーデーだ俺もそろ／＼歸つて一杯やり、メーデーと洒落るかな』と、

そのくせ、濱松の旺んなるメーデーの狀況にヒヤ／＼しやアがつて、何時もなら疾つくの昔歸つて終ふものを、遂々晩まで机にしや振り付き濱松署からの電話を後生大事に受け取つてゐたのさ、器丸の小い奴め飼犬め！

吾れ々々無產者は御身等のやうにグウタラ八兵衞の芝居氣分で仕事をしちやあ居れえぞ、

何かと云へばすぐ『引ッ括つて終ふ』とか、何とか、脅迫して吾れ等の清い運動にジヤマを入れる。殊に何うだ此の程われ等の云ふ仲間一同で握手した靜岡和平聯盟の演說會の當夜の如き、警部補以下二十餘名の正私服を場の內外に配置して水も漏さぬ嚴戒措置に出でゝ折り柄集つて來た數名の婦人熱心家に對し『こんな演說は聞かない方が好いお歸へんなさいお歸いんなさい』抔と如何にも親切らしく、おとなしく、傍聽の妨碍をしやアがつた。手前等自身が既に立派にブルでないくせに、ブルらしい意識を持つて、その草履取りとなり、提灯持ちとなり、番犬となり、吾れ等が神聖なる〇〇〇〇への發途にくだらない、おせつかいを世にも圖々しくしてのけやがる。

殊に我が縣の警察は全國中最も鈍物のみ揃つてるといふのは、自他共に認めてゐるところだ。

馬鹿野郞！　今に見ろ手前等の身毛を根こそぎに刈り取つてやる時が來るからその時になつて驚くな。

（靜岡　鈴木英夫）

◇投稿を俟つ◇

全土戰報欄の原稿は地方に於ける無產階級の運動狀態を全國に傳へ、且戰術を研究する資料となるものだから同志諸君はどし／＼熱のこもつた活氣のある原稿を御送り下さい。殊に支局は每月必ず一回宛原稿を御送り下さい。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

故國の同志に與ふ

在米一同志

資本主義必然の附物戰爭と恐慌近代的世相あり、大戰後此方世界的に經濟界の不振とか云ふいかにも普通人には最らしい一寸と不可解なる謎〇〇〇何か與黑い空の雲の上の化物、偉大なる神樣が隱れて居つて神秘な糸を綾つて此の人間界の經濟生活を左右してゐるかの如くに、殆んど大部分の人間が信じさせられ、且つ敎へられて居るからでしよう、西洋人、特に米國一般社會で最も迷信的に尊重され且つ、常に良く使ひなされる言葉の一ツにツ・ツライ・ユーアー・ラッキイー資本主義の社會に住む人間の生命を言ひ表はして居ると聞けば面白い、日本でも田舍の青年は成巧立志傳、偉人崇拜を敎へられ信じさせられて來た。現代資本主義社會で云ふ偉人とは大富豪を意味してゐる、運命開拓と云ふ言葉を尊く思はせて來たのも、彼我共通した支配階級クサイユォロージが潜むを認む、現存ブルジョア大學は資本主義社會の組織に付いては全く盲目である、王國では王との者の自由研究を禁ずると同じ意味で歷史の事實を御都合よく塗替て支配階級の必要に適合させる爲め經濟學も政治學も悉く其の方へ歪めて居る、

一昨年以來爭議を續けて來つた、あの英國の炭鑛主聯盟對工夫組合は彼のブルの代辯ボルドーウーエン內閣の姑息的彌縫政策たる國庫補助案を以つて兎に角過去一ケ年丈は無事で來たものゝ戰後の當米國の支配階級は財政金融資本を腐る程に、持ちあまして、處分に困つて居る、然しボルドーウーエン否英國のブル共は昔日の勢力を失ひつゝある、其れに向ふ先の見えない奴鑛主連は强慾の一點張必然の過程協調は破れた、總同盟罷工豫告的演說を當府で開催されたメーデパーテーに於てデリーウオカスの御大イ・シルーゼンバークの運輸ツレード組合が立つて後援を託して總同盟罷工を宣した今朝八日の電報欄には協調會議再び不調のため二百萬の第二戰線たる電氣ゲアスの勞働組合も動員する由、プロ階級當然自覺の上に立ちて大同團結すれば馬鹿にはならない今度英國がグラ／＼搖ぶつて居る、支配階級の代辯共は獨逸と戰爭で敗北したりまだ／＼危險と恐怖を感じると叫んで居る、全交通運輸生產機關が停止された。暗を劈いて悲壯なる革命歌を聞く深刻悲慘を極むるだらう。全世界の支配被支配階級の視聽を集めた〇〇最近故國よりの通信に依れば愈々來る可き普選を前に大難產の無產政黨組織が成立した由を祝す奇形變體であるかも知れない兎に角現在の日本の情態の中から生れて來つた子供をそれだけに運命付けられて居たのでしよう。

「人の子は產むより育て」と諺の如く希望は未來にあるのです、乞ふ諒せよ諸兄强大なる金權武力を握る獨裁の强敵を前にして戰はねばならない。無產大衆の重大なる未來を背負つて立つ可く自覺した各前衛分子たる者共の境遇上よりする現實的な糞を振り捨て勞働運動の全的大局前步へと着眼して協心力與總聯合の基礎を作り上げ固められん事を祈る世界で最も進步的と聞える惡賢い惡辣陰險至らざるなき我警察司法制度の改革だ、社會科學の研究、思想問題勞働運動の實際化に對する支配階級の番犬官憲の暴壓と鬪ひ乍ら成長を欲するなれば個々の微々たる團體や組合を引締めたぐらいな勢だけでは何日まで經つても無駄骨に等しい、敵對して騷ぐだけが既に野暮だ、實に赤子の手首を捩よりまだしやすい、生々しい尊い實例は古今東西に渡つて幾多の敎訓を示して居る、〇〇〇の赤旗事件以來種々變轉して最近の無產政黨組織に至るまで、殆ど僚友同志の

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

軋轢反目喧嘩の連續の感なきを得ず近來の甚しきに至つては公私の混同個人の感情論に墮して居る敵を斃すに手段を選ばず式の見苦しき態度を恥ない然り無産大衆の覺醒どころか各幹部連中、心機一轉の必要なきやを思はしむ等、諸兄にも御承知だつたでしよう、昨年の九月三十日より、本年二月中旬頃まで拾五萬の無煙炭鑛工夫が結束し、ミジオーレ・ルウーエスの指導の下に同盟罷工をやりました、本部は、當府第一流のホテルベルビユー・スターフオードに事務所を置き新契約期に當つて給料の切下げ時間の延長等を主張して、鑛主聯盟に對して戰つたのです其の時も孤立無援で有ましたが組合員も可成り大勢であり一糸亂れず團結の行動が取れた嚴冬期に向ふ時でもあり、且つ全産工業の元動力を供給する處の炭鑛業の停止は其の影響する處實に大なるものであつた。西洋家屋の構造生活樣式上からして石炭は必須缺く事は出來ない一般市民の注意が集るブルの新聞は盛んに宣傳し工夫側の悲難を毎日の如く書き立てる一噸の石炭は二十三弗に暴騰々々平時は最近年拾四五弗しても無煙炭は絶對的に中産階級以下に金子を拂つても賣つて呉れなかつた何地の國でも資本主義の社會に住む貧乏人が割が惡く出來て居るこれだけ組合の勢力を集注して團結した罷工になると幹部連中に對する警察官憲の態度が馬鹿に大人しく一變する實に靜かなものであつた。資本家鑛主連はやつきと焦慮してあらゆる文明的高等政策を以つて罷工破りの智慧をしぼつた一方は中央議會を動かして立法の力で壓迫せんと試みて果さず、片手は生活難に苦しむ工夫の家庭に妻君連を軟化さす可く勉めた權力と懷柔の兩方責めに逍ひ乍ら一番恐ろしい生活苦と共に良く五ケ月半餘根强く戰つて來つたので工夫側の要求條件の殆ど八分通りまで貫徹して局を結び向ふ五ケ年の契約で落着したそれに引き替へて「こんしん」より起つたニユージヤージイ、パアセツエク市の紡績工場の爭議罷工は正に拾六週間に及ぶ一萬六千人の勞働軍團の指導者は當年二十五才の青年ハーバート大學法政科の出身ニユーヨークグランドスクルにて左傾派首領連に付きて社會經濟學を專攻した、今は八方の敵の重圍を受け乍ら良く惡戰苦鬪を續けて居る、小都會の工場主は其の町政治經濟司法の獨裁權を握つて居る彼等は勞働軍の微力を見て取り高壓的に警察權の亂用しながら第二の小ムツソリニイの如く暴壓言語に絶すリーダ連は殆ど監禁投獄退府前例のなきボンドを課せられて居る、別紙切拔を御覽なさいアノ通のやり方をして居るのですいかに個々にして連絡のなき罷工程悲慘さ深刻を極むるか目の當り示して居る米國の勞働運動は今後益々發展さす必要がある、

日本の諸兄に對して以上の如く解り切つた時勢後の樣な戲言を書き連らねた事を恥しく思ふ何卒惡からず御寛容下さい、私は只だ故國の勞働運動の將來を思ふの餘り無學無能をも省みなかつた事を深く御詫します請願くば各同志が相互に暖かい心持になつて提携し融合して進まれん事を衷心から祈つて止みません。

生活短章

長田滋利

この次のたよりは
遺書になるだらうさ
書きたる友よ
今、牢にあり。

○

打解けて語る人なき
この夕べ
監獄にゐる
友を思へり。

○

亢奮して眠れぬ夜半
甲板を
踏みならしつゝ
革命歌うたへり。

○

兄は病み弟は飢え
何百里
へだてゝ生きてる
ふたつの生命よ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

社會運動より見たる

知識階級の正體

澤井龍之助

一

日本の國家社會は今や混沌たる世紀末的現象を呈して居る。是を外的方面と内的方面の二途より觀察すれば、外的方面に於ては資本主義的物質文明のドン底に沈淪して今や其の行詰りの極地に到達して居る。而して一方、是を内的方面より觀察すれば國民一般の近代的感覺は著じるしく高潮したとは云へ各々何處に行くべきかに混迷して居る。そして科學、藝術、哲學、宗教、教育の諸文化機關はそれ〴〵近代的意識の色彩を多分に含有して新らしき文化建設の先驅者たらんとして其の妍を競つて居る有様である。かくて此の諸文化機關は其の各々の主義主張の下に國民大衆の頭上に停立して我こそ大衆の指導者であると誇りかに叫んでゐるのである。吾人は彼等の其の殷盛な宣傳振りとそして其の誇りやかな賑やかしいお世辭振りとを此處で述べ樣爲に書いてゐるのではない。吾人は是等諸文化機關の其の本質と、そして其の機能、任務及び其の階級的意義に就いて少しく述べたいのである。

二

吾等は現今の日本に於いて凡そ三つの階級的典型を觀る。即ち一は近世資本主義文明を形立せしめたる資本家階級であり、一は其の下積みとなつて働らいて居る勞働階級であり又、其の中間的介在として、アヤフヤな位置を獲得して國家の中堅と自惚れてゐる。知識階級である。これを若一つ別言すれば中產(中間)階級と云つても差支へない。而して吾等は此の三つの階級的意義及其の意識的、無意識的の目的、理想等について檢討して見ようではないか。

資本家階級は現代文明の母體である。是を感情的社會主義にて解釋すれば或はそうでないと云ふかも知れない。けれども唯物史觀的解釋を以つてすれば自から歷らかであらう。封建制度の跡を受けて燎原の火の如く急速に其の近世資本主義文明の大伽藍を形成せしめたものは其の當時の新興革命階級であつた現在のブルジョアジーである。此のブルジョアジーは現今の國家社會に如何なる位置を獲得してゐるか。又如何なる機能を發揮してゐるであらうか。彼等は封建制度を崩壞せしめた殊勳者であり、其の急先鋒であつた。故に問題は歷らかである。彼等は現代資本主義文明下の國家の主人公であり、又其の擁護者であり、更に又其れの支持者である。寔に彼等は現代の諸文化機關を自由に運轉する權能を與へられてゐるものであり、それの所有者である。彼等の階級的意義及意識的、無意識的、目的及理想は以上によつて自から聯想せしめるであらう。彼等は自己享樂の下積となせる無產階級をば、其の飽く無き物質的搾取慾を以つて根厘財、搾取し盡さんとし、そして其れが自からの生くる道であり、それのみに於て彼等は己が盡さざる歡樂の生涯を續けて行く手段である。彼等は無產階級無くしては生きて行く事は出來ない。彼等は當然、無產階級の〇〇である。

プロレタリア階級は此の右の事實に據つて自から其の階級的意義を自覺せしめるであらう。彼等はブルジョアジーに搾取され乍ら、キワドイ一生を苦惱と貧困とによつて終らしめる。其の生涯は誠に妾宅の飼猫の一生よりも更に一層、悲慘である。何となれば彼等は何日如何なる所でパンの道を離れるかも知れないからである。其の生活は野良犬の如く一定の場所と家庭を必要としない。彼等は必然に自からの行く道を覺るであらう。彼等は當然、ブルジョアジーの敵對者でなければならないのである。

三

吾等は右の事實と認識に據つてブルジョアジーとプロレタリアの素描的概略を試みた。此の二階級は現今の全世界の國家社

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

會を貫く二つの代表的社會階級である。

此の以外に獨自?の位置にあると自惚れる知識階級——此の中には所謂プチ、ブルもあり又中産階級も混つてゐる。而して多くは中産階級である。——がある。彼等は自から國家の中堅と自任し、其の指導者の如く振舞ふ。若しくは指導者ぶるのである。而して、一國の文化を我者顏に換言すれば時代の文化の先驅者の如く彼等は先づ自分を斯くの如く評價する。吾等は此の世間馴れず、徒らに知識的論理に耽る大人にして高尚なるお坊ちやん階級に此の小論の鋒先を主としてそれに向けるであらう。

全世界の國家社會を通じて其の內部に勃興する所の一つの新らたなる胎兒を吾等は覩るそれは現存資本主義文化の土臺石である新興プロレタリア階級である。現今の一切の社會問題の濫觴は即ち此處より發生される。而して其の歸趨は人々に據つて其の見解は異つて來る。一、現存資本主義は永久に存續する。二、資本主義社會の後に變るものは社會主義社會である。三、此の二つでもない。而して社會は或る程度迄、改造しなければならぬ。

日本の社會內部を流れる時代思潮を概略色別すれば、凡そ右の三つに別け得られると思ふ。一、を信ずる者は云わずもがな資本家階級でなければならない。二、を代表する所のものは新興プロレタリア階級及其の同一運動を實行しつゝある急進インテリゲンチヤである。三、を取る所のものは所謂知識階級に屬する所の中ブラリン階級である。

此の知識階級一般の唱へる所のものは或る程度迄、改造しなければならぬ所のものである。是を別言すれば、社會政策を意味する。『極端は何日も乍ら不可である。須からく中庸を取らねばならぬ』成る程、御尤である。中庸！成る程、言語のひゞきはいゝ。資本主義でも不可ない。社會主義でも不可ない。彼等は屢々、資本主義を攻擊する。而して其の黃金物質萬能制度の罪惡を別抉し、それの改造を叫ぶ事に於ては或は社會改革論者をも凌ぐ程である。けれ共、一度、根本的の改革を唱へる者があればそれにも增して彼等は親の仇敵にでも出喰した如く其の持論を振り翳して眞向より挑戰もし應戰もする。何故であらうか。吾等は此の主眼點に深甚の注意を向けねばならぬ。

四

彼等は現存資本主義文明を目して可なり、手痛たい論難の筆陣を張る事に於いて屢々社會改革者をも凌ぐものある事は前にも述べた。然るに一步、先を踏む事に於てはこれにも倍して大反對をする。問題は此處にある。

彼等は眞實、社會改造の熱意と誠を有してゐるのであるか。若しあれば何故、一步、先を踏み越して根本的の改革に進まないのであるか。吾等は此處に彼等の矛盾と錯誤を發見する。彼等は現狀維持でも不可ない。又、根本的改革を斷行する事も不可ない。

然らば何か。彼等の地位は主に裕福な位置にある。而して彼等は成る事なれば現狀維持がいゝのである。彼等は現在の文化生活に何より滿足して居る。けれ共、資本主義文明を攻擊する事を止めない。彼等は何故に資本文明を攻擊するのであるか。以下述ぶる事に據つて自から判明するであらう。

彼等の現在の生活は社會改革論者の叫ぶ理想社會よりも甚だ有利な地位にある。是れ彼等の摸糊曖昧なる根本條件でなければならぬ。彼等は現存の資本制度を破壞する事は已の地位が危なくなるからであり、少なく共自已の安逸なる生活を脅やかされるからに外ならぬ。問題は須からく簡潔明瞭を好む。彼等は現存資本制度を破壞される事が何よりも恐ろしい。そして、それを防がんが爲、其の新興プロレタリアの聲を蔽ひ、それを邪路に踏みこましめんが爲、彼等は聲を嗄らして一層、屢々資本主義文明の罪惡を絕叫する。彼等は其れの救船を社會政策に持ち來す事にヌカリがないのである。そして洪水の如き社會進化の流動を喰ひ止めんとして血眼になる。彼等は遂に其の正體を暴露せずには居られない。彼等の正根は正しく資本家のそれと何等異る所がない。（完）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

創作

胡瓜日記

中島安太郎

しめつた土の中に下された乾き切つた胡瓜の種が、陽光と水とを吸收して、徐ろに芽生えの準備に餘念がなかつたろう頃。失業者、小島はある親父から、勞働者募集の勸誘を受けたので感謝してその條件に應ずる事にした。親父は同村の者で、大字だけは違つてゐたがもの丶十町も離れてはゐない半土方の中百姓であつた。

親父は煙草に火をつけながらギロギロと小島の顏を見た。そして入念に話し續けた。——つまりそんなやうなわけで、明日から早速行つて貰はんならんのだす。え丶、出面の方は、出人夫の一圓八十錢、部屋人夫と云ふことになりや、飯代を差し引えて一圓四、五十錢ちゆところです。……それでその——此處から二里半もある處だで泊つてお貰えする事にして、夜具布團、茶椀は持つて行つて欲しいのですぢや。實は我々三人で請負つたのぢやさかいに——。

寢具から食器まで持つて行つて勞働時間はいくらかは知らないが、一圓四五拾錢位ひ、ほう——都會の不景氣時代も田舍にも區別はないぢやろに、去年の十二月から今年の一、二月すら七尾線あたりの土工は一圓六十錢の單價を拂つてゐるんだ。糞ッ、たあれが——この忙しいのに、農閑期とは異はあ。賃銀が一日に二、三十錢の差異があつたらやり切りねえぞ、これや。穀物のふくろの種子もさへづりさうな春の日を。ふ丶ん。

仕事は山の切取り工事だつた。水力の輕便鐵道が敷かれるのだ。小島は飯場に泊ることにした。寢具も擔ぎ上げた。鮮人が一人、あとは皆百姓人夫が、忙しい中からやりくりして二日か、三日で交替して稼ぐのだ。トロ押しのひまに、もつこつりのひまに、人夫達は私語した。

——一體、いくらの出面を與れるのだろう——親父は毎日に來なかつたが根氣よく來た。けれども單價はいくらとも云はなかつた。忙がしさうに急き立て丶みなを、追ひ廻した。

鍬入れだと云ふのに酒一杯、呑ませなかつた。その日は大雨が降つた。胡瓜が白い芽を出したのはその翌日からであつた。

五月は來た。田植えの始まる頃、キナ粉や胡麻入りの握り飯はうれしい少年時代の追憶の重要な頁を占めてゐる、あのなつかしい農村の五月が、メーデーを魁さして全世界を包んでしまつた。小島の母と二人の貧しい生活は、四百五十歩、あまりの小作田に與へる、肥料の金や、欲しい書籍や雜誌の金が必要だつた。けれども金を借りやうとは思はないでおとなしい小島は、コツコツ働いてゐた。新綠の山の輝かしさは男性的な美しさ雄大さに充ち滿ちてゐた。胡瓜は三つ葉ぐらひ出てそれから、芯のやうな蔓がちよこんと空向いてゐた。

小島は食物の惡いのには何より閉口した。惡いと云ふよりは無いと云ふのが至當だつた。米と味噌だけが買つてあるだけだ。休みを利用して、あさつきや、何か山のものを採つて來ては汁の實に投げ込んだ。一寸五十錢あつたら一日の飯代は出來さうに思ひた。百姓人夫は、二日か三日居たら長い方だ、だから平氣だ。小島も辛抱強く卑怯に我慢して居た。その頃から變な噂が立つた。如何やら損が行く(來る)と云ふのらしい。考へて見ればその筈のやうにも思えた。淺野なり、日本電力なりが、見積つた最低價格で入札したものが請負を貰ふのだ。それだけでは濟まぬ。請負業者の佐藤なり加藤なりがやる。すると直ぐ下請負者だ。それが親父等三人が仕事を貰つた、木村某と云ふ男だ。日本電力から出た金が俺達の手に這入るまで四度以上の人手を潜つて來るのだ。何でも木村が設計書も、圖面も、下請のものには見せないのださうな。今に見てゐろ、親父も俺達も共倒れになるぜこいつは、小島はこんな事を考ひた。

資本金、二千五百萬圓、國庫の補助が一百萬圓、縣の補助は二

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

制、世評區々、ふもとの村の評判のすばらしさ、座川水力電氣の起工、山中の寒村は一躍して黃金村となつた、賣店が出來る、洋食屋、吳服屋、餅屋、淫賣屋、此の土地に撒き散らされる、勞働者の金を集めるための商賣屋の空景氣、勞働者の飯場、請負、下請負の事務所、その事務所の前を通過した小島は、斯んな書物が出入口の硝子戶に貼りつけられてゐるのを發見した。

野丁場就業時間表

始業　五時半
煙草　自九時至九時十五分
晝食　自十一時半至十二時
煙草　自三時半至三時四十五分
終業　七時

右の通り御座候

御旅屋(請負者名)

大正十四年四月

各位

靑田を吹き渡つて野を撫でる涼風が、枯木の添棒にまきついて輕い溜息を吐く、胡瓜の雌花、雄花をゆすつて夕暗にからみついては虛しくなる頃——。

村會議員の選擧運動に奔走した親父は反對者を暴力でやつつけた爲、傷害罪として起訴されたので、餘程心配になつたらしい、長いこと丁場へは出て來なかつた。それに工事は全く缺損ときまつた。「我等三人」は一人逃げ二人逃げ、完全に手を切りもしないものが此の親父一人位ひ、いよ〳〵勘定の日は來た。恐ろしや飯代七拾五錢、恭々しく一圓參拾五錢の勘定書を頂戴した。勞働時間は十二時間以上だ。血の出るやうな筋肉勞働一時間が十錢何厘。日本勞働總同盟も國際聯盟協會も、矢つ張り金がなくちやあ動きが取れねえからなあと思ひながら、仕送りを差し引かれた、殘金所得をだまつてポケツトへねぢ込んで暗を迂路迂路と散步した。

その晩小島は胡瓜もみを肴に冷酒を一杯飮んだ。

——一九二六、六、二六——

感想

K・S生

自然の色を失ふた
茫々たる廣場の荒涼たる秋草
お前の名は何んぞや？
〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇〇
練習する練兵場！

◇

搾取したる膏血にて
肥大された巨馬！
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
〇！
〇〇！〇〇！
無限に蹂躙され自然の色を失ふた荒涼たる秋草！
お前の名は練兵場！

◇

ああ！不幸なるかな！
お前の冠詞こそ
馬の背中で意氣揚々として
東西南北！縱橫無盡に馳せ去り馳せ來たる
〇〇〇〇！

◇

夕陽に眼光をくらませる程閃めく其の長劍！

殺氣滿々たる其の眼光！
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇〇〇？
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇！
ああ！騰々たる殺氣
全身に襲ひ來たる！
無意識の間に全身はぞつとする

◇

然し不幸に泣く練兵場よ！
なによりも失望落膽はお前に禁物！
〇〇〇〇〇〇〇〇
過去の砲煙彈雨！
腥風血雨！
殺伐の修羅場！
其は自由と平和の樂園になることを！

◇

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
しお前は和氣靄々たる團欒の娛樂場になる時の近づきつゝあるを！
思へば雀躍の歡喜！
全身の血管を漲ぎり流れる

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

社會小說

ジミー君の話(3)

アプトン・シンクレア著
前田河廣一郎抄譯

歐洲大戰は世界をまつぷたつにした。

勢ひジミーの環境にも議論が沸かぬわけには行かなかつた。世界各國の移民から成立つてゐるリースヴイルの村でも、社會主義者は獨澳側と、英佛側の同情者で、集會ごとにまつ赤な顏をして喧嘩するものが出來た。英國側の有力な社會黨支部の醫師は、そのために脫黨さへするやうになつた。ジミーは迷つた。實際どちらにも理窟はあるのだ。彼はすつかり非戰論と主戰論との渦中に卷込まれてしまつた。

だが仲間のうちでも、徹底的な社會主義者をもつて知られてゐる過激なビルなどは、カイゼルがバグダッド鐵道へ漕ぎつけようと、英國艦隊がどうしようと、そんなことはアメリカの勞働者に何になるか、一番大切なことは俺達が英國の口說上手にかゝつて徵兵されないことだと頑張つてゐた。その影響で、ジミー・ヒギンスが非干涉主義になつたことは、爭はれない事實だつた。

ところが、大戰以來三ヶ月で、平和なりしリースヴイルの村では一大事が起こつた。といふのは、今迄ジミー君と仲間とが四ヶ年も働いてゐたグラニッチの工場では、愈々今度ベルギー政府からの金で、戰爭に使ふ砲彈製造に從事することとなつたといふ次第なのだ。しかも通告三日にして、ジミーは自分の借家の立退を命ぜられ、彼の住んでゐた區域一帶は、グラニッチ砲彈工場の新敷地となつてしまつた。

『戰爭を餓死せしめよ、そしてアメリカを飢えしむるなかれ！』といふ標語を押立てゝ、仲間と共に勞働者の間を非干涉主義を鼓吹して步るいてゐたジミーの家が、忽ちにして取壞はされ、その近所一帶は見るまに殺人器具の製造工場となつてしまつた。そこで、ジミー・ヒギンス君は、どんなに社會主義者が絕叫しようが、戰爭はアメリカの片田舍のリースヴイルまでも押かけて來たことを悟つたのである。

グラニッチの工場がベルギー政府の金で建つと、ロシア政府は千七百萬弗の金を送つて彈丸を註文して來た。社會主義者としてのヒギンス君に、ドイツの仲間や勞働者を殺戮するための砲彈を造ることが出來たか？ これはジミー君にとつて重大な道德的苛責であつた。折も折とて、彼の末の子が病氣に罹つて醫者の支拂ひにさへ窮してゐたのだ。

問題は、同志の一人のシユナイダー君には何でもなかつた。彼はリースヴイルの酒屋をやつてゐるドイツ人であつたので、社會主義者としてもドイツ人としても、グラニッチ工場に即刻のストライキを要求した。と、同志メーブル・スミス夫人は、自分の弟が工場の帳附をしてゐるので、資本家のソリダリテー（團結力）は世界到る處に鞏固であつて、勞働者はどんな仕事に就かうと必ず戰爭を間接に助長してゐるものだ、と叫んだ。

こんなことで、ジミーもどうやら、安心してやはりグラニッチの砲彈工場に働くこととした。ロシアからの千七百萬弗がころげ込んだといふので、リーズヴイルの景氣は上え下への騷ぎであつた。千二千とほかの町から勞働者が流れ込み、町は急に商品をふやし、物價はいやが上に騰貴した。わけても、アメリカ中から社會主義者、アナーキスト、サンヂカリスト、勞働組合員などが陸續とやつて來て、工場の勞働者の間にまじつて、アヂテートーはじめた。町には每週二晩急に會員の增加した、社會黨支部から出て大道演說があつた。

その天井知らずの騷ぎの最中に、ジミーの友人のマイスナーが一人の男から、新工場で八時間勞働と最低限度一時間六十仙の賃

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

銀値上を要求してストライキをやらないか、と奬められた。それには、十分に金も出たし、リースヴィル社會黨の機關誌『勞働者』も後援する必要がある。直ちに次の週間にストライキ擧行として、――マイスナア君は極秘に一と束の紙幣を手渡された。六十弗！　ジミーはそれを見せられて吃驚した。戰爭の副産物としてのストライキ、それにこんな大金があるとは！　マイスナアはジミーをその見知らぬ男に紹介することとした。

ゼリー・コールマンといふその男は、身なりのきつぱりした、小金持らしい鋭い男で、私かに勞働者の間にストライキを起こさせるために金を分けてやるならいくらでも出すと云つて、ジミー君にもいくらか掴ました。二人に問ひ糺されると、コールマンは自分はアメリカ勞働總同盟の者で、支部設立に從事してゐるのだと答へた。かうして社會黨支部とコールマンとは橋渡しされた。しかし、その當時のアメリカは、極端にドイツ人のスパイを怖がつてゐたところから、人々は忽ちコールマンをドイツ政府のスパイであるといふ名目の下に、彼等の週刊紙聞『勞働者』へ出資するといふコールマンの申出を拒絶することとした。

その代り、社會黨は毎晩一回づつ大道演説を行ひ、工場にストライキを起こさせることを獨力でやることと決定した。ジミーは毎晩、石鹼箱を持つて、大通りの一角へ出張した。ジミー君は、終日の勞働のあとで、輕るい晩餐を取り、直ちに町へ出て遲くまで演説をしたり、パンフレットを撒いたりして、深更綿のやうに疲れて家へ歸へると、リズイのそばへ棒のやうに寢ころんだ。工場の賃銀がよかつたので今は前の二倍も金をとつてゐるところから、ジミーは三人の子供を抱へて、今後の貯蓄の少し位はして置いてもよささうなものだつたが、取つた金はみんな運動に注ぎ込み、軀を荒らく使つて、まるで折角の黃金時代を、木の枝を切りに登つた男が、自分の切つてゐる枝の上へ腰かけてゐるやうな始末――としか、彼の狂的な運動熱は、妻君のリズイの眼には見えなかつた。しかし、彼女は善良な妻君のやうにそれをじつと怺へてゐるのみだつた。

工場は不平不滿の聲に充ちた。工場主側のスパイの報告で十人二十人の過激職工が馘首された。『ストライキ！　ストライキ！』の聲が焰のやうにひろがつた。示威行列が行はれた。ジミーは有頂天になつた。同志が運んで來た創刊『勞働者』を抱へると、彼は聲を嗄らして呼び廻はつて、それを撒布した。

その日の午後になると、一つの工場の門外では罷工職工と、工場へ這入らうとする、職工との間に小ぜり合ひが起こつた。警察は總出で暴徒を鎭壓しにかかつた。

ジミーと同志とは空箱の上から、スキヤップの連中を指さして『彼奴だ！　彼奴だ！』と叫んで、罷工職工を指揮した。と、そこへ一臺の自動車が飛んで來て、次の町から大勢のゴロツキを載せて來た。もう一臺、更に一臺とやつて來た亂暴者は、棒で罷工職工の間を押分けて、

『退け！　退け！』

と叫んで、スキヤツプ連を門の中へ入れた。

群集は怒りに叫んだ。石が飛んだ。自動車の上に立つた一人の青年が、

『其奴を檢擧しろ！』

と云ふと、投石者は直ちに三人のゴロツキに掴まつた。

『あれが誰だか御前知つてゐるかい？』

ジミーの同志はさう訊ねた。ジミーは知らない。

『あれかグラニッチ爺さんの息子さ。』

ジミーと同志とはまだ立つて群集を指揮してゐた。と、忽ち群集が開けて、彼等社會主義者だけが、自動者の上の青年の指さすところとなつた。

『逃げろ！　つかまるぞ！』

ジミーは一散に驅け出した。（つづく）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

◈鈴ケ森だより◈

鈴ケ森

噫鈴ケ森刑場跡、是れ四年前本誌の生れし所、惡戰苦闘再び居城を築く、感慨深し、庭園廣く約五百坪、諸種の運動に使用す、階上より東京灣を臨めば安房上總を一望せしむ、夕陽正に入らんとするとき礫上の英雄を偲ぶものあり。（平）

入社と移轉

◇

進めは今度風光明媚如何なる醜惡も此處に來たれば寸時にして淸淨作用を行ひ無垢な、生一本になると傳へられる處鈴ケ森（舊刑場跡）に移轉した。進めは、鈴ケ森に生れてより經る事四年再び鈴ケ森の出生地へ還つて來た恰から自然界に於ける法則の樣に進め循環に要する日數は四ケ年、自然界に於ける一ケ年地球は大陽を一循環する日數より、遲き事三ケ年と五月、月に割れば四十一ケ月、日に割れば千二百五十有餘日になる、なに、時間に割れと、此の忙しい編輯日にそんな「ノンキ」な事してゐては他のお叔さんにお「コー」られらあ………

◇

進めは此れから創造された其の時の樣に、一年に於ける正月の如く、潑溂たる意氣と希望と、吾れ等の昂じ切つた熱、一度目的場に向へばそれは資本家であらうと、資本家は勿論の事、警官であらうと、○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○○○○○、等々々云つて來たならば切りはないが、吾人の敵であるならば人を選ばぬ誰でも來い、吾人の熱、そして意氣、蠻力に依りて、恰も、溶鑛爐に於ける鐵硝子の如くドロ〳〵にして地球上から抹殺し得る事を確信してゐる。

進めは創造其の時の樣な勢ひである。凡ては新らしく一循環して來た、僕は入社否社會運動に投じてより日淺さしとは云へ無產階級解放戰、○○○に於いて支配階級に向つて突擊し彼等現在有してゐる武器、○○、○○、○○、反動團體を根底から粉碎する時に當つて後を取る者でない事を他人はいざ知らず俺自身は信じてゐるからまあ心配はない、時折には遊びに來給へ、鈴ケ森刑場の隣だ、そばの御「マハリサン」に聞けば直く解るよ………

（中　井）

御斷、御詫、御願

七月は「トゥ〳〵」宿替やら移轉やら進め社從來の「ゴッタ〳〵」で休刊の止むなきに至つた、惡しからず、その埋合として八月を七月の中頃十五日頃に、發行する事にした、處で、讀者諸兄に事情を御諒察の上御憐憫を願ふ。四月の始めに入營した松山君は六月三十日に退營した、以後從來通り進めの編輯に從事する事になつた、軍隊で三ケ月間仕込まれた、腕前を見せると豪語して目下歸省中、近く來社する筈、次に同人湯原彥三氏は、先月廿八日に復習の爲入營、進め社は社會主義團體の中で軍隊に奪はれるのは第一位、陸軍省のよい御得意先になつた譯。

◇

進めを次號からいゝものにする準備はしてあるから、今月號は此の位で辛棒して貰ふ事にする、それから全土戰報の紙面を益々擴張する事にしたから各地方の運動情報や、憤慨を書いた原稿を「ドシドシ」編輯係り宛で送つて戴きたい、進め社の戰闘歌も印刷にして讀者に無料頒布する事になつてゐる、但し九月の中旬になる積りです、入用の方は係り宛で申込んで下さい。

（辰　與）

◇

告知

左の三名の者は今後本社とは絕對に何の關係もありませんから左樣御承知下さい。

奧野直義
渡邊理治
岡本一郎

◇

今回新に工藤君といふ純眞なる地方の靑年が同人になりましたから御紹介致します。

編輯室より

◇

地下に眠る、反逆兒先輩諸兄のお招きに應じて、再び鈴ケ森に、足を、とゞめることになりました。

で早速ながら、この盆には、地下の同志諸君も、大槪は、出席され、本社の大廣間に於て、一大痛論會が開かれる筈、どうか地上の諸君にも、續々と、溢るゝ眞劍味を以て、萬丈の氣焰を擧げに御出掛け下さい。

それやこれやの準備やら、移轉やらの騷ぎと、忙がしさの爲、とう〳〵殘念乍ら、七月號の編輯時期を失つてしまひ、御氣の毒乍ら、讀者諸君にお詫して、此の號を八月號と致しました。どうか御諒承下さい。

◇

諸君も御承知の如く、此の頃は敵の陣營が、非常に亂れて、內務省と文部省とが喧嘩したり、陸軍省と鐵道省とが、いがみ合つたり、東京市では市長の就任が長びいて事務が、まごつくし、それかと思ふと、一方、內閣總理大臣閣下には、御自分の別莊を新築さるとかで、金持の屋敷に、理想的な建築風を御覽に歩くと云ふ仕末、益々陣營が亂れて、隙だらけ……

○○○○○、○○○○○○○○○○○○、○○○○○○○○○○○○○○。

◇

○○!!　○○○○○○○○○○、○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○、○○○、○○、○○○○○○○○○○○○○○○○○○、○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

進め・講座

社會主義講話(五)

石川準十郎

社會主義の期する社會の仕組の理由

(社會に貧乏の存在する理由)

(B)社會的無駄

(一)消費的立場より見たる無駄

生產的立場より見たる社會的無駄に就ては大體以上の如くである。次に消費的立場より見たる社會的無駄であるが、資本主義社會に於ては、生產的見地から見て驚く可き社會的無駄が行はれて居るのみならず、消費的見地から見て又同樣の驚く可き社會的無駄が行はれて居る。換言すれば、今の世の中にあつては莫大な高の勞働と物とが、社會の經濟的仕組が惡い許りに、全く無駄に費やされて居るのである。然らばそれは何處に、如何にして行はれて居るか。

我々は先づその主なるものとして(1)商業を擧げることが出來る。而して商業に次いで、商業に伴ふ所の(2)廣告、(3)投機、(4)金融業、(5)保險業等を擧げることが出來、更に(6)國家の犯罪機關の大部分及び、(7)國際戰爭の多く等を擧げることが出來る。次に我々は先づその事實をば簡單に商業に見やう。

次の話は米國の經濟學の泰斗イーリー博士のある著書に、各一つの例として出て居る話である。米國のシカゴと云ふ市に於て或る人が四弗(約八圓)で一樽の林檎を買つた。そしてそれを開いて見たらば、中から一枚の紙片が現はれた。それには鉛筆で次の如く書いてあつた。『私はこの林檎を七十五仙(約一圓五十錢)で賣りましたが、あなたはいくらで買ひましたか』と。

又米國のユタと云ふ所の或る牧養者は、或時ブルックリンと云ふ市に要足しに行つたが、或る肉屋の前を通つて、其の肉屋で羊肉百封度(十二貫目)を十八弗(約三十六圓)で賣つて居るのを見て大いに驚き頓狂な聲を出して、『俺は何日でも百封度(十二貫目)を四弗(約八圓)で賣つて居るんだが、あとの十四弗(約二十八圓)を一體誰が取るだらうか』と叫んだと云ふ。

我國の農商務省は數年前次の表の如き事實を調査して發表したことがある。表中に「生產者値段」と云ふのは、生產者が仲介人に賣り渡してやる値段であり、『消費者値段』と云ふのは、消費者が小賣商より買ひ取る値段である。

品名	生產者値段	消費者値段
蘿蔔	一〇、〇	二、八八
葱	一、〇〇	二、一〇
胡瓜	一、〇〇	一、七七
茄子	一、〇〇	二、五〇
里芋	一、〇〇	一、七二
馬鈴薯	一、〇〇	二、五九
甘藷	一、〇〇	二、一五
小松菜	一、〇〇	二、四三
林檎	一、〇〇	六、三〇
蜜柑	一、〇〇	三、一八
梨	一、〇〇	三、〇〇
柿	一、〇〇	五、六九

右に依れば之等日用品の價格なるものは、生產者から消費者の手に渡る間に二倍乃至六倍になつて居るのである。然らば誰がその間の差額を取るのであるか。

それは云ふまでもなく、生產者と消費者の間に介在する卸賣商、小賣商、仲介人等が取るの

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

である、勿論その中には純粋のも含まれて居るのであるが、然しそれは恐らくその十分の一にも當るまいと思はれる。その大部分は之等の介在者の手を幾段にも重ねることに因つて、幾重にも高くなつて來るのである。勿論彼等もタナからボタ餅式に何等勞することなくして取るのではない。彼等もそれ相當に心身を勞し、從つて又物を費やして居るのである。然し乍らその勞働力乃至物の消費なるものは、社會的立場から見る時は、大部分無用なものであり、社會の經濟的仕組を變へることに依つて節約することの出來るものなのである。

今の世の中は私有財産主義を前提とした自由競爭主義の世の中即ち經濟的無統制主義の世の中である。さればこそ今日の如き賣買法を必要とするのである。これが共有財産主義、協働主義即ち計畫的經濟の世の中だつたら、どこに今日の如き賣買法を必要とするであらう。私有財産主義、自由競爭主義の世の中なればこそ、生産者はその生産物の各個的競爭的處分を必要とし、隨つて生産者と消費者との間に斯くも幾重もの介在者を必要とするのであつて、これが共有財産主義(生産機關の)、協働主義の世の中即ち社會主義の世の中だつた　直ちに生産場から必要な消費の場所に配運され得るのである。勿論社會主義の世の中に於ても一種の賣買(公設市場制に依る賣買)は必要であらう。然し乍ら今日の如き賣買法は必要とせず、隨つて今日の商業なるもの大部分は無用のものとなり得るのである。換言すれば、今日商業なるものに費されて居る驚く可き高の勞働力乃至物の大部分は、節約されることになるのである。この事は比較的容易に理解され得るだらうと思ふ。實に商業なるものはそのあらゆる方面に於て、斯の如き無駄を敢へてして居るのである。

(一)、斯く云つたからとてその小賣商や卸賣商や仲介人が惡いと云ふのではない。その人間その者に罪があるのではなくして、斯くして生きねばならぬ社會の仕組そのものが惡いのである。

(二)、今日人々の間に『自由主義』なる言葉が屢々用ひられるが、近代語としての『自由主義』なる言葉は『經濟的自由主義』の意味に用ひられるのが普通であつて、資本主義の根本制度としての生産の自由制、交換の自由制、競爭の自由制等を意味して居るものである。

以上は(1)商業に於ける無駄な社會的消費に就て見たのであるが、同樣のことは商業に伴ふ所の(2)廣告、(3)投機、(4)金融業、(5)保險業及び、更に(6)國家の犯罪機關の大部分、(7)國際戰爭の多く等に就ても言ひ得られるのである。然し此處には都合上、その一々に就て解說する譯には行かない。讀者諸君は他に專門の良書を求めて研究して貰ひたい。要するに今日の社會はその消費的方面に於ても、生産的方面に劣らざる社會的無駄を敢へてして居るのである。これが全く不合理で無くて何んであらうか?

さて我々は今こそ眞に、社會主義は何が故に(一)生産機關を公有にし、(二)生産を公營にし(三)分配を公制にせんとするかを理解することが出來る地點に達した。我々は既に、今の社會に貧乏の存在するのは全く(一)階級的搾取と(二)社會的無駄とが行はれて居るが爲であることを見た。而して、其階級的搾取と社會的無駄とが行はれるのは全く生産機關の私有制度、生産及び交換の自由競爭制に基づくことを見た。社會主義は實にこの貧乏の根本原因を除かんとするものなのである。即ち(一)生産機關の私有を變じて公有とし(二)生産の私營を變じて公營とし、(三)分配を國家若しくは公共團體に行はしめ、即ち公制にし、以つてこの社會より貧乏を驅逐せんとするのである。

されば社會主義は人類にとつて眞に福音なのである。人類は社會主義の社會に至つて始めて眞に人間らしい生活をすることが出來ると云つても決して過言ではない。されば社會主義社會の達成に反對する者は、それこそ社會に取つて許す可からざる危險人物と言ふことが出來るのである。(未完)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

夕刊賣子

蔦川白虹

首の宣告！即刻だ。
明日！●●●刻一刻に迫つてくる灰色の影と餓鬼の化身だ。
いんうつにけぶる街上に首がころげ落ちたのだ。
畜生ッ！
憤激と焦燥のよるが皮膚をなでまはした。何といふ冷い觸手だ。
拳骨が闇にかち合ふ。ぴかり、ぴかり、ぴかり。
飢へた扉をあけて俺を待つてゐるといふのか。
覺へてゐろ！

◇

貝島炭坑の罷業、ちりん、ちりん、夕刊賣子だ。
芝浦製作所、白金、タクシー、ストライキが呪咀の蛇を喰つて
持久戰だ。
フレ！フレ！フレ！フレ！フレ！フレ！同志！やつつけろ！やつつけ
るんだぞ。
昂奮した魂が行進曲を吹奏する。おゝ赤旗のひらひらとなびく
音が耳底でする。
首の宣告！首の交換料、金壹圓也！
馘首、檢束、白色テロリズムの横行だ。行列だ。
反動新聞の誇大中傷記事、捏造と虚僞と慘殺が彼等の常習犯だ。
畜生ッ！畜生ッ！

◇

赤い花びらだ。接吻だ！
浮きあがり、またやはらかく沈みゆく。
白蛇の踊る金魚の紅玉の眼玉！
自由の塔に逆立ちして俺は下界の騷々さに愛想をつかす。

◇

ちりん、ちりん、ちりん、ちりん、夕刊だ。夕刊だ。
情死！ 自暴自棄の運命だ、射擊！
工場は閉息した。職工は街上に吐き出される。
怠業だ 怠業だ。持久戰だ。首つ玉だ。
まけてたまるものか。
勝利だ。凱旋の喇叭だ。進轉の交響樂がきこゆる。
闇の中に金切聲が途切れ、途切れ。
神祕の扉はわが前に展けて光明の涌出だ。

―一九二六、七作―

黑い手

長田滋利

手だ 拳だ 腕だ
闇の中に固く握り交された手だ
黑い手だ
大きな腕だ
高く振り上げられた拳骨だ
○○だ ○○だ ○○だ ○○だ
不正だ 正義だ 自由だ 生命だ
たゝかひだ たゝかひだ
世紀の黎明のほの明りに
微笑むは地下に眠る同志の面影
黑い手だ
大きな腕だ
闇の中にしつかりと握り交された
誓ひの手だ 使命だ
迫害と抑壓との長き幕は閉ぢて
○○○○○○○○○○

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

眞劔味を以て戰へ

神戸平八郎

一

日本は今や全土を擧げて反動主義の跳梁下にある。政府はさきに『普選』の好餌を與へて無智なる民衆を喜ばせて瞞着し、恰も民衆の味方なるかの如く揚言し、泡よくば一千萬人の新有權者をば利用せんと企んで居る。

而して此の『普選』なるものは、政府自から自發的に斷行せるものに非ずして實に時代民衆に激成されて厭々乍ら、實行せるものである。斯の如き似而非『普選』をば民衆の前に公開し、懐中には『普選』によつて新らしく勃興せんとする無産階級の政治的行動に備へんが爲の『治安維持法』の匕首をば密ませて自黨否自階級の擁護の爲にせんものと待構へ居るのである。

斯樣に現政府は左手に『普選』の餌を與へ、民衆の一部的意嚮に投じ、或る歡心を購わん事に勤むると共に右手には『普選』によつて漸く政治的自覺に向わんとする無産大衆の政治的結成をば畏怖し、何うにかして新興勢力をば拒否、防遏して根本的に粉碎せんと企念して居る。一面、政府は此の新興勢力をば自黨に有利な方向に導こうと慾して居るのである。

二

此の政府の政策は日一日と極端に突き進んで行く。彼等はさきに『普選』を斷行せんとして先づ『治安維持法』なる古今未曾有の惡法をば制定しつゝも、未だ慊らず今度は更に積極的戰術をば行使して『學生軍事教育』をば實施し、是に加ふるに、又もや全國青年團の總動員を斷行して『公民教育』『青年訓練』の美名の下に飽く無き軍國的搾取教育の効果を目ろんで居るのである。かくて全國無産大衆の手足首、胴は重き鐵鎖に絞め縛られ永遠に浮び上る事の出來ぬ迄に搾取の魔手に虐なまれ苦しまなければならないのである。

今や實施の緒口にある『公民教育』『青年訓練』は最も吾等無産青年の注目する所でなければならない。彼等は『普選』に據つて政治的盲目時代より眼醒めんとしつゝある新興無産青年大衆をば精神的に去勢し、大人しい『籠の鳥』に『訓練』せんとなしつゝある。かくて積極的には『民衆の軍隊化』に非ずして『軍隊の民衆化』を企圖し無産青年大衆をば和製ファシスチに據らしめ、肉體的にも精神的にも、完全にブルジョアジーの道具に化さんと勉めて居る。

三

吾等も斯く迄、ブルジョアジーの攻擊が加へられて來れば晏然と手をこまねいては居る譯に行かぬ。

日本の資本主義は今や峠を下り始めたのである。「下り」は速い。されどそれを阻止しようとする近代馬鹿人が居る。資本の車輪は急速に廻轉してゐるが否しつゝあるけれ共それを妨害する石ころに出喰す。が然しもう遲い。彼等は要するに噴火山上に轉々する一岩石にも足らぬ品物である。

かくて、ブルジョアジーは今や最後の死裝束に身を固め始めた。『窮鼠更つて猫を嚙む』彼等の形相や正しくそれである。翻つて吾等の陣營を觀る。豈に失望せざらんと欲するも、失望せずに居られやうか。寔に世は太平である。獨り「反動」の双手を延してあくびするにさも似たる我陣營の寂しさ哉！と云ひたくなる。

一部、社會運動團體の間に絕えざる反目確執のあるを聞く。身を社會運動戰線上に置く者、苟しくも眞劍味といふ『三字』だけは忘れないで呉れ。

眞劍味』此の三字は好く彼等に使はれた言葉である。が然し彼等の『眞劍』は人に說く『眞劍』であつた。吾等は寔に白刄頭上に振かゝる所の生死の關門に身を置く心地を以つて不斷に敵陣に突進せなければならぬ。

『敵を恐れるよりも味方を恐れよ』『戰はんとする時は先づ味方の陣營を整へなくてはならない』我々は絕えず之の言葉を實際に行はなくてはならない。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

平野力三
三和一男 編輯

農民組合

一部五錢
多數割引

發行所 全日本農民組合同盟
東京市芝區愛宕下町三ノ二

加藤今一郎主幹
關口熊吉編輯
無産階級政治新聞

春秋新報

毎月一回發行
一年五十錢

愛知縣中田町
振替名古屋一二二二三番
春秋新報社

金銀
白金

東京市神田區松田町
徳力本店

農民運動の急先鋒

小作人

山根積編輯
一部五錢
一年五十錢

島根縣能義郡母里村
山崎豊定方
發行所 小作人社
振替大阪七六九九二番

月刊

自由新聞

（一部拾錢）

東京市牛込區原町一ノ七二
自由新聞編輯事務所

吉田只次著

農村の振興と改造

定價 並製一圓七十錢
上製二圓
送料十四錢

横濱市南太田町字庚耕地一四一〇
發行所 凡人社
振替東京六〇七三九番

民衆食堂

魚善

東京日比谷山勘横町

高等洋服仕立

服部洋服店

東京日比谷山勘横町

鳥取縣米子町大山驛前二本木

月刊

農民新聞

農民組合山陰聯合會

（一部八錢）

■價格低廉なる事東京一

活版、石版
各種印刷

新聞雜誌
パンフレット
單行本
寫眞版

■印刷鮮明期日確實なる事日本一

（一報次第見積書送呈）

東京市京橋區木挽町一ノ一二

地涌學會印刷所

電話京橋四八七〇番

谷田德造

朔風パンフレット

1 清明なる日月へ　定價二十錢　送料二錢

2 穀物考（近刊）

3 蕪青の漬物（近刊）

——切手代用可十部以上割引——

富山縣東礪波郡南野尻村
大字苗島四三七〇

朔風社

福田理三郎編輯

平民新聞

一部十錢　一年六十錢

島根縣松江市南田町

平民新聞社

失業勞働

一部五錢　一年五十錢

東京市外池袋二二六

發行所　失業勞働者社

お買物は三越

◎三越には日常生活の御必要品は大低御座います
◎良い品は東京に限りますが東京でも三越の品ならば御安心であります

品は良く、價は廉く、品數は豊富

三越呉服店

◇東京駿河町◇

主幹赤松克麿

民衆新聞

混沌たる現時我國の社會運動に一道の光明を齎す民衆の言論機關生る。現實主義の進軍喇叭であり、健全なる社會運動の指針である本紙を讀まずして今日の時勢を語る勿れ。

月二回發行　定價一部二錢

東京市芝區新堀町三十一番地

民衆新聞社

書籍　雜誌　出版　販賣　交換　貸出　取次

古本大學

◇入用な本があれば、お貸し致します。
◇不用な本があれば、交換致します。
◇社會問題の本なら何でもあります。
◇一度に多數注文の場合は割引致します。

東京日比谷

問題社代理部

振替東京七三九九九番

大正十二年一月三十日第三種郵便物認可
毎月一回
定價一部十錢（稅五厘）
發行所　東京府下荏原郡大井町鈴ヶ森海岸一八三〇　振替東京六九八〇二
進め社本部